

令和 5 年度

公益財団法人いわき市教育文化事業団決算書

(抜粋)

自 令和 5 年 4 月 1 日

至 令和 6 年 3 月 31 日

公益財団法人いわき市教育文化事業団

目 次

	ページ
・ 事業報告書	1
・ 決算報告書	53

事 業 報 告 書

目 次

	ページ
I 概 況	
1 総 括 事 項	3
II 業 務	
1 文化財部門（公1 埋蔵文化財の発掘調査事業）	
(1) 発掘調査事業	4
(2) 埋蔵文化財啓発活動	6
(3) 指定管理施設との連携	6
2 施設部門（公2 教育文化施設の管理運営事業）	
(1) いわき市立草野心平記念文学館及び草野心平生家	8
(2) いわき市暮らしの伝承郷	13
(3) いわき市勿来関文学歴史館	22
(4) いわき市アンモナイトセンター	27
(5) いわき市考古資料館	31
(6) 福島県いわき海浜自然の家	36
(7) いわき市生涯学習プラザ	39
3 管 理 部 門（法人会計）	47
III 評議員会・理事会に関する事項	
1 評 議 員 会	51
2 理 事 会	51
3 監 査	51
4 役員等に関する事項	51
IV 職員に関する事項	
1 事 務 局	52
2 施 設	52

I 概 況

1 総括事項

令和5年度は、当財団の設立から46年目、公益法人に移行後10年目の節目にあたる。公益法人としての役割を認識し、専門性を十分に活かすとともに、5類に移行した新型コロナウイルス（以下、「新型コロナ」という。）感染症の感染拡大防止対策を踏まえながら、職員一丸となって市・県民の心の支えとなるような事業を展開した。

理事会は6回、評議員会は2回開催し、財務に関しては収支相償に留意しながら、公正・公平で透明性のある組織運営に努めた。

文化財部門は、昨年度に引き続きJRいわき駅周辺の再開発事業による平城跡内での発掘調査や試掘・確認調査が実施された。田町曲輪内の武家屋敷地調査では、掘立柱建物跡や井戸跡等の遺構のほか、陶磁器やかわらけ、漆器等の遺物が多数検出された。また、市道改良に伴う柳町地区の調査では、内堀跡が検出された。事業量は、前年度と同数の13件であったが、収入額は約3億2,010万円で、約9,330万円の増となった。

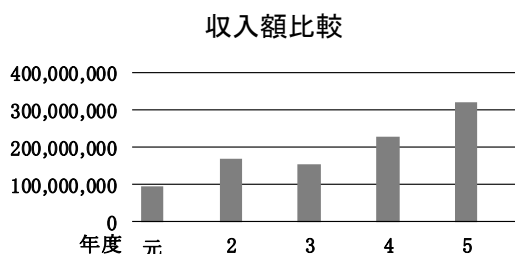
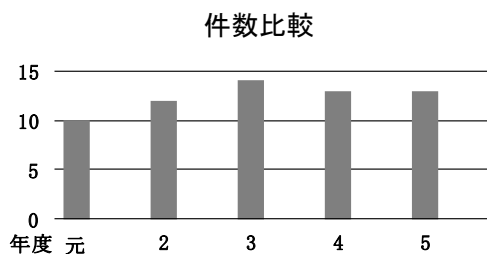
施設部門は、6施設が指定管理期間の最終年度を迎えたが、公募等を経て、引き続き5か年の指定管理者に決定した。事業については、魅力ある企画展や体験学習等を展開した。全施設の年間利用者は前年度比113.3%となった。

法人運営としては、施設長会議や事務担当者会議、安全衛生委員会等の諸会議を引き続きオンラインを主体に実施し、施設の運営にあたった。

今年度の収入は全体で約8億700万円となり、経費の節減に努めた結果、約3,240万円の黒字決算となった。

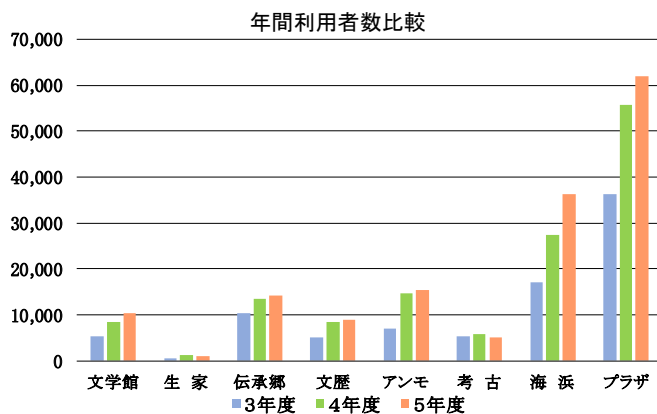
○ 発掘調査事業契約件数と収入額の年度別比較（令和元年度～令和5年度）

年度	元	2	3	4	5
契約件数 (単位：件)	10	12	14	13	13
収入額 (単位：円)	93,946,360	169,944,500	155,347,500	226,794,700	320,111,000



○ 施設年間利用者数比較（令和3年度～令和5年度）

	文学館	生家	伝承郷	文歴	アンモ	考古	海浜	プラザ	合計
3年度	5,461	607	10,420	5,227	7,053	5,394	17,062	36,406	87,630
4年度	8,487	1,177	13,500	8,586	14,777	5,903	27,404	55,668	135,502
5年度	10,510	997	14,263	8,941	15,510	5,022	36,402	61,892	153,537



Ⅱ 業 務

1 文化財部門（公1 埋蔵文化財の発掘調査事業）

令和5年度は13件の事業を受託した。内訳は、発掘調査5件、報告書作成・刊行8件である。

発掘調査では、平城跡で2か所の調査を実施した。並木の杜地区では、昨年同様、田町曲輪の武家屋敷地内で各種遺構を検出し、陶磁器・かわらけ、漆器などの生活用具も多数出土している。さらに、下層から磐城平城築城以前の掘立柱建物跡や畑地、陶磁器類が検出されたことは特筆される。柳町地区では内堀跡を検出し、近世から現代までの陶磁器類が多量出土している。

勿来バイパスに伴う北作B遺跡では、縄文時代、弥生時代、平安時代の竪穴建物跡や土坑を検出し、各時期の土器類が出土している。

また、調査報告書を8冊刊行した。平城跡で、公園整備事業の本丸跡、いわき駅南口ホテル建設に伴う田町曲輪の調査成果を整理、分析し、本丸御殿の様相や内堀跡の作事などの成果が収められた。さらに、夏井・高久地区の報告では、根岸官衙遺跡群との関連が指摘される新林遺跡や地藏院前遺跡の成果をまとめ、古代の官衙周辺地域の様相が明らかになってきた。

市内遺跡に関する試掘・確認調査は、10遺跡12か所を調査し、報告書作成作業までを実施した。報告書は、いわき市教育委員会が刊行した。

(1) 発掘調査事業 遺跡位置図は7頁のとおり

ア 発掘調査業務

(ア) 市内遺跡発掘調査業務委託	
委託者	いわき市教育委員会（文化財課）
遺跡名	市内一円
受託期間	令和5年4月11日(火)～同6年3月15日(金)
契約額	11,969,100円
成果	谷地川遺跡（泉町下川・宅地造成 位置図⑤）、御宝殿遺跡（錦町鳥居西・寄宿舍建設 位置図⑥）、平城跡①（平字旧城跡・公園整備 位置図⑦）、沢小谷遺跡（好間町北好間・市道舗装 位置図⑧）、原町遺跡（平豊間・市道改良 位置図⑨）、荻C遺跡（川前町下桶売・風力発電建設）、好間条里跡①（好間町下好間・集合住宅建築 位置図⑩）、内郷条里跡（内郷綴町・非常用発電設備設置 位置図⑪）、小茶円遺跡（平山崎 市道改良 位置図⑫）、好間条里跡②（好間町下好間・集合住宅建築 位置図⑩）、大野条里跡（四倉町山田小湊外 ほ場整備 位置図⑬）、平城跡②（平字旧城跡・公園整備 位置図⑦）の10遺跡12地点において試掘・確認調査を実施した。 谷地川遺跡で溝跡・井戸跡、原町遺跡で遺物包含層、内郷綴町条里跡で溝跡、小茶円遺跡で土坑・溝跡・水田跡、好間条里跡②で溝跡・水田跡、大野条里跡で溝跡などが検出された。
(イ) 都市計画道路搔槌小路幕ノ内線（柳町工区）埋蔵文化財（平城跡）発掘調査業務委託	
委託者	いわき市（土木課）
遺跡名	平城跡（平字柳町 位置図①）
受託期間	令和5年9月14日(木)～同6年2月29日(木)
契約額	19,963,900円
成果	磐城平城跡二ノ丸東側に位置する内堀跡が検出された。現代まで開口していた堀跡で、近世の陶磁器のほか、上層からは多量の近・現代の陶磁器が出土している。
(ウ) いわき駅並木通り地区第一種市街地再開発事業に伴う令和5年度埋蔵文化財発掘調査関連業務委託（整理含む）	
委託者	いわき駅並木通り地区市街地再開発組合
遺跡名	平城跡（平並木の杜 位置図②）
受託期間	令和5年4月14日(金)～同6年3月15日(金)
契約額	125,374,700円 [当初 125,606,800円]
成果	江戸時代のほか、下層から平安時代、戦国時代、上層から明治時代の各時代の遺構が確認された。掘立柱建物跡（柱穴）・井戸跡・土坑・溝跡などが検出され、あわせて中近世の国産及び舶載の陶磁器やかわらけなどの土器類、漆器・曲物・下駄などの木製品が多量に出土している。 調査終了後は、令和4年度調査分を含めた4地点の遺物の水洗・注記・実測・トレース、遺構図の修正・トレースなどの整理等作業を実施した。

(エ) 一般国道6号勿来バイパス事業埋蔵文化財発掘調査	
委託者	国土交通省東北地方整備局磐城国道事務所
遺跡名	北作B遺跡(勿来町関田北作 位置図③)
受託期間	令和5年11月2日(木)～同6年3月31日(日)
契約額	64,168,500円
成果	調査支援方式を導入して、民間業者と発掘調査の契約を締結して調査を実施した。丘陵上からは縄文時代、弥生時代、平安時代の竪穴建物跡、土坑などが検出された。また、縄文土器、弥生土器、土師器、須恵器などの遺物が出土している。
(カ) 磐城平城跡塗師櫓石垣修復事業 石垣元位置特定業務委託	
委託者	いわき市教育委員会(文化財課)
遺跡名	平城跡塗師櫓石垣(平字旧城跡 位置図④)
受託期間	令和5年11月9日(木)～同6年3月29日(金)
契約額	11,495,000円
成果	民間業者に委託して、崩落した石垣石材の元位置特定作業を実施した。

イ 整理等作業、報告書作成・刊行業務

(ア) (仮称) 磐城平城・城跡公園埋蔵文化財調査業務委託	
委託者	いわき市(公園緑地課)
遺跡名	平城跡(平字旧城跡 位置図⑭)
受託期間	令和5年4月26日(水)～同6年3月18日(月)
契約額	20,119,000円
成果	令和2年度に調査した平城跡本丸の調査報告書を刊行した。礎石建物の本丸御殿、池跡などの庭園跡を検出し、さらに、戊辰戦争時の焼土層を確認した。また、肥前や瀬戸美濃の陶磁器やかかわらけ、砲弾などが出土している。
(イ) いわき駅南口ホテル新設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査業務委託	
委託者	東日本旅客鉄道株式会社
遺跡名	平城跡(平字田町 位置図⑮)
受託期間	令和5年7月26日(水)～同6年3月20日(水)
契約額	15,538,600円
成果	令和4年度に調査した平城跡田町地区の調査報告書を刊行した。本丸南側の内堀跡南岸部が検出された。近世・近代の陶磁器類、漆器や下駄などの木製品が多量に出土している。
(ウ) 梅ノ作瓦窯跡群範囲確認調査業務委託	
委託者	いわき市教育委員会(文化財課)
遺跡名	梅ノ作瓦窯跡群(小川町下小川 位置図⑯)
受託期間	令和5年7月10日(月)～同6年3月15日(金)
契約額	3,001,900円
成果	令和2～4年度に調査した3基の須恵器窯跡及び1基の性格不明遺構から出土した須恵器について検討した。
(エ) 埋蔵文化財発掘出土品整理業務委託	
委託者	いわき市教育委員会(文化財課)
遺跡名	館跡遺跡(植田町館跡 位置図⑰)、砂屋戸荒川館跡(平上荒川 位置図⑱)
受託期間	令和5年7月3日(月)～同6年3月22日(金)
契約額	3,999,600円
成果	昭和51年度に調査された館跡遺跡と昭和59年度に調査された砂屋戸荒川館跡の調査報告書を刊行した。館跡遺跡からは古墳時代の竪穴建物跡7棟、15～16世紀の城館遺構が検出された。土師器・須恵器や中世陶磁器が出土している。砂屋戸荒川館跡は14～15世紀の城館跡で、掘立柱建物跡20棟、堀切3条などが検出された。中世陶磁器やかかわらけが出土している。

(イ) 市内遺跡発掘調査（報告書作成）業務委託	
委託者	いわき市教育委員会（文化財課）
遺跡名	応時遺跡（勿来町大高 位置図⑱）
受託期間	令和5年7月3日(月)～同6年3月22日(金)
契約額	5,124,900円
成果	平成28年度に調査した応時遺跡の調査報告書を刊行した。 弥生時代の竪穴建物跡2棟、古墳時代前期7棟、古墳時代後期20棟の竪穴建物跡などが 検出された。また、縄文土器、弥生土器、土師器、須恵器などが出土している。
(ロ) 南白土関根2号線外1線埋蔵文化財（岡ノ内遺跡外1遺跡）発掘調査業務委託	
委託者	いわき市（土木課）
遺跡名	岡ノ内遺跡（平南白土 位置図⑳）、新林遺跡（平藤間 位置図㉑）
受託期間	令和5年5月15日(月)～同6年3月22日(金)
契約額	22,324,500円
成果	令和3・4年度に調査した岡ノ内遺跡、令和4年度に調査した新林遺跡の調査報告書を 刊行した。 岡ノ内遺跡は平安時代の竪穴建物跡、古墳時代の土坑及び遺物包含層が検出された。遺 物包含層は縄文土器を主体に、弥生土器、土師器、須恵器が出土している。 新林遺跡は古代の掘立柱建物跡が検出された。想定される建物の時期から、近接する根 岸官衙遺跡群との関連が指摘された。
(ハ) 高久保育園埋蔵文化財発掘調査業務委託（報告書作成・刊行）	
委託者	いわき市（こどもみらい課）
遺跡名	地藏院前遺跡（平下高久 位置図㉒）
受託期間	令和5年7月5日(水)～同6年2月29日(木)
契約額	7,332,600円
成果	令和4年度に調査した地藏院前遺跡の調査報告書を刊行した。 7世紀後半から10世紀の竪穴建物跡や井戸跡、近世墓などが検出された。主体は奈良時 代となり、近隣の根岸官衙遺跡群との関連が指摘された。
(ニ) 第410号 町道馬場前線道路改築工事に伴う埋蔵文化財本発掘調査業務委託	
委託者	檜葉町
遺跡名	馬場前遺跡（檜葉町大字上小埜字馬場前）
受託期間	令和5年6月16日(金)～同6年2月29日(木)
契約額	9,698,700円
成果	令和2年度に調査した馬場前遺跡の調査報告書を刊行した。 縄文時代中期と奈良・平安時代の竪穴建物跡などが検出された。縄文土器、土師器、須 恵器などのほか、筒形土器が多量に出土している。

(2) 埋蔵文化財啓発活動

いわき市考古資料館 第1回企画展「令和4年度発掘速報展」

同館と共催で開催した。展示解説資料として『いわき発掘ニュース』第84号を発行し、最新の発掘調査成果の周知に努めた。詳細は2-(5)-ア-(ア)のとおり。

(3) 指定管理施設との連携

生涯学習プラザと連携し、2事業を実施した。詳細は3-(4)-イのとおり。

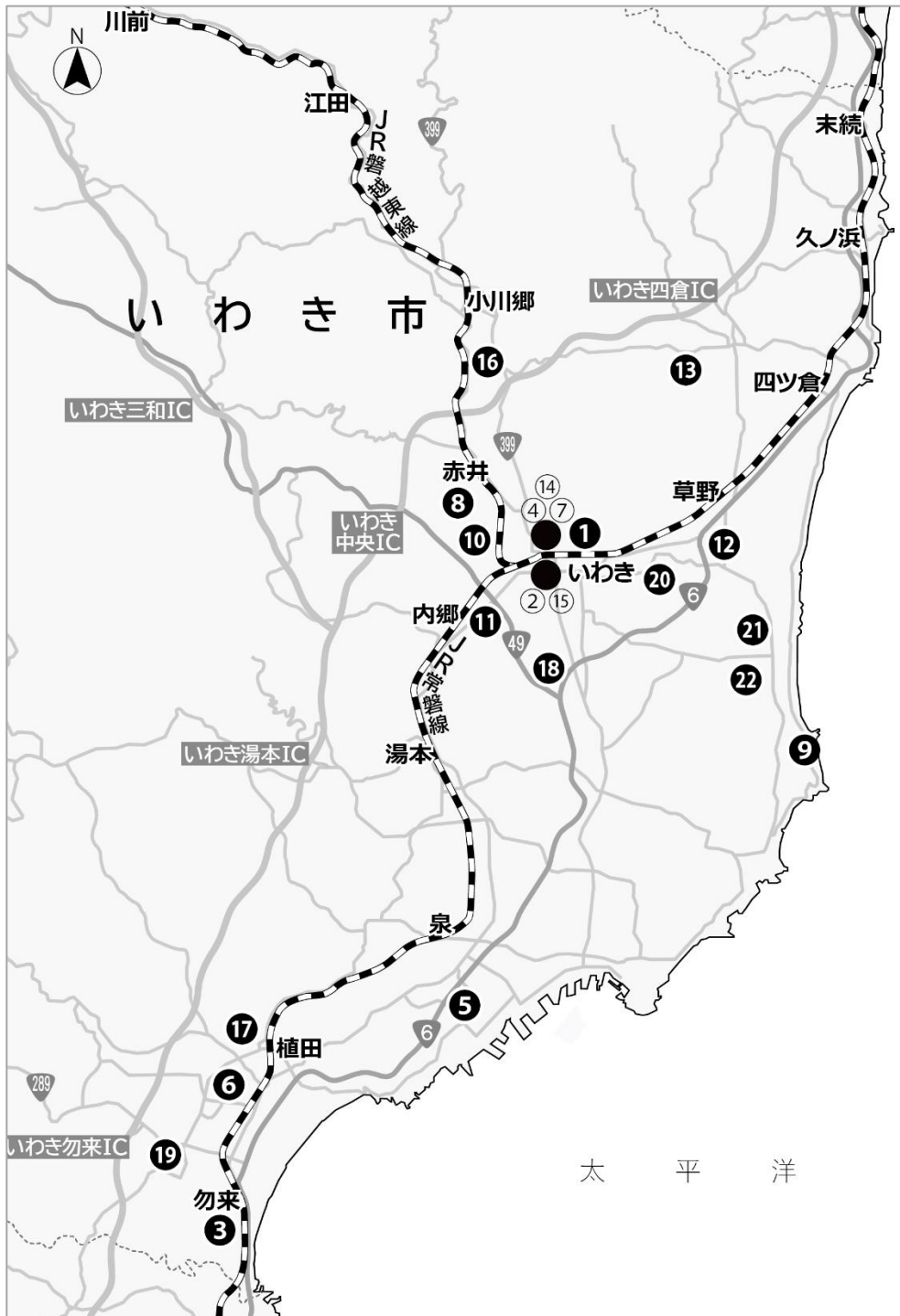
○ 埋蔵文化財発掘調査 遺跡位置図

ア 主な発掘調査業務（試掘・確認調査含む）

- ① 平城跡（平字柳町）
- ② 平城跡（平並木の杜）
- ③ 北作B遺跡（勿来町関田）
- ④ 平城跡塗師櫓（平字旧城跡）
- ⑤ 谷地川遺跡（泉町下川）
- ⑥ 御宝殿遺跡（錦町鳥居西）
- ⑦ 平城跡①②（平字旧城跡）
- ⑧ 沢小谷遺跡（好間町北好間）
- ⑨ 原町遺跡（平豊間）
- ⑩ 好間条里跡①②（好間町下好間）
- ⑪ 内郷綴町条里跡（内郷綴町）
- ⑫ 小茶円遺跡（平山崎）
- ⑬ 大野条里跡（四倉町山田小湊ほか）

イ 整理、報告書作成・刊行業務

- ⑭ 平城跡（平字旧城跡）
- ⑮ 平城跡（平字田町）
- ⑯ 梅ノ作瓦窯跡群（小川町下小川）
- ⑰ 館跡遺跡（植田町館跡）
- ⑱ 砂屋戸荒川館跡（平上荒川）
- ⑲ 応時遺跡（勿来町大高）
- ⑳ 岡ノ内遺跡（平南白土）
- ㉑ 新林遺跡（平藤間）
- ㉒ 地藏院前遺跡（平下高久）



2 施設部門（公2 教育文化施設の管理運営事業）

(1) いわき市立草野心平記念文学館及び草野心平生家

文学館 いわき市小川町高萩字下夕道 1 番地の39 平成10年 7 月19日開館
 生 家 いわき市小川町上小川字植ノ内 6 番地の 1 平成15年 4 月10日開館
 委託者及び指定管理期間 いわき市 平成31年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月31日

いわき市立草野心平記念文学館の年間入館者は10,510人、前年度比2,023人の増、年間開館日数は311日間であった。

いわき市草野心平生家の年間入館者は997人、前年度比180人の減、年間開館日数は311日間であった。通常の開館時はボランティアの会員が心平と故郷の関わりを解説しつつ、親しみやすく来館者に接している。

いわき市の「感染防止いわきスタイル」宣言のもと、新型コロナ感染拡大防止策を講じつつ、催事の参加定員を徐々に増やし、宣言終了後も適切な感染症防止対策をすることで、新型コロナ流行前の参加定員に戻して利用促進を図った。

ア 企画展

令和 5 年度は、春、夏、秋と 3 回の企画展を開催した。「草野心平の詩 海は己れの海鳴りをきき。」では、これまであまり知られていなかった「海」を主題とする草野心平の作品を紹介するとともに、新たな視点での詩人の魅力を発信することができた。「宮西達也Newワンダーランド展」では、催事を通じた絵本作家宮西達也氏とのふれあいに満足する声が多く寄せられ、絵本作家本人が重視する体験としての展覧会を観覧者が十分に享受し得たと考える。また子育て世代のみだけでなく、三世代そろって、または成人した親子での来館、友人同士の来館も多く見られ、家族愛や友情を再確認できる機会を提供できた。開催期間中の催事では、参加申込をWeb申込とし、インターネット利用の多い子育て世代も申し込みやすいよう図った。「中山義秀展」では、芥川賞受賞作家中山義秀の作品と生涯を展覧するとともに、これまであまり知られていなかったいわきや心平との関わりについても触れ、県内出身の文学者についての理解を深める機会とした。

スポット展示は、「猪狩満直」、「いわきの古生物」、「吉野せい」、「草野天平」を開催し、いわきゆかりの文学者、資料、交友や、「宮西達也Newワンダーランド展」に関連した多様ないわきの古生物を紹介した。

(ア) 春の企画展「草野心平の詩 海は己れの海鳴りをきき。」 4月15日(土)～6月25日(日) 1,171人 「海」を主題とした詩篇のほか、故郷いわきの沿岸部や国内外の海について触れた随筆で、創作上の「海」、実体験した「海」を紹介した。
関連事業 ギャラリートーク 5月13日(土)、6月3日(土)いずれも14時～14時30分 計22人
(イ) 夏の企画展「宮西達也Newワンダーランド展」 7月15日(土)～9月24日(日) 6,803人 200万部のベストセラー「ティラノサウルス」シリーズや、「おとうさんはウルトラマン」シリーズなどで知られる絵本作家宮西達也氏の代表作の絵本原画を中心に、制作資料や秘蔵のスケッチ、ラフ原稿、絵本作品のジオラマなどを展示した。
関連事業 a ギャラリートーク 7月17日(月)祝、8月13日(日)いずれも9時30分～10時、7月16日(日)、8月11日(金)祝、同12日(土)いずれも13時30分～14時 計369人 b ライブペイント 7月15日(土)、同16日(日)、同17日(月)祝、8月11日(金)祝、同12日(土)、同13日(日)いずれも10時～10時30分 計530人 c サイン会 7月15日(土)、同16日(日)、同17日(月)祝、8月11日(金)祝、同12日(土)、同13日(日)いずれも10時30分～11時30分 計337人 d 読み聞かせ 7月15日(土)、同16日(日)、8月11日(金)祝、同12日(土)いずれも13時～13時30分 計241人 e ワークショップ「フタバスズキリュウをつくろう！」 7月17日(月)祝、8月13日(日)いずれも13時30分～15時 計79人 いわき市で発見された海竜にちなみ、工作用紙でフタバスズキリュウを作った。

(ウ) 秋の企画展「中山義秀展」
10月7日(土)～12月24日(日) 1,273人 時流に流されず自らのテーマを追求し続け「孤高の文士」「最後の文士」と称された福島県出身の作家中山義秀の作品と生涯を展覧し、いわきや草野心平との関わりについても紹介した。
関連事業 a 記念講演会「平成・令和の歴史小説と中山義秀」 11月26日(日)14時～15時30分 49人 講師 澤田瞳子氏 (小説家・中山義秀文学賞選考委員) b ギャラリートーク 11月11日(土)、12月9日(土)いずれも14時～14時30分 計11人
(エ) スポット展示「猪狩満直」
4月8日(土)～6月25日(日) いわき市好間町川中子出身の詩人猪狩満直(1898～1938)と草野心平の関わりについて、詩集や作品掲載誌、自筆原稿などで紹介した。
(オ) スポット展示「いわきの古生物」
7月1日(土)～9月24日(日) 夏の企画展「宮西達也Newワンダーランド展」に関連し、三葉虫やクビナガリュウの脊椎骨、アンモナイト、イワキゾウ(ステゴロフォドン)の乳白歯などの化石を展示し、多様ないわきの古生物を紹介した。
関連事業 体験発掘「三葉虫を取り出そう！」 9月9日(土)13時30分～15時 15人 アンモナイトセンターと連携し、三葉虫の化石を内包する外国産の天然石を用いて、化石の体験発掘を実施した。詳細は3-(4)-イのとおり。
(カ) スポット展示「吉野せい」
10月7日(土)～12月24日(日) いわき市小名浜出身で、好間町の通称菊竹山で暮らした作家吉野せいの作品を所蔵資料で紹介した。
(キ) スポット展示「草野天平」
1月2日(火)～3月31日(日) いわきゆかりの詩人草野天平の終の棲家となった松禅院での詩作を中心に紹介した。

イ 普及事業

「文学散歩 草野心平の故郷・小川町」は、草野心平の故郷である小川町の町並みを歩き、草野心平とその作品への関心を深めた。

夜間開館時や週末を中心に演奏会などを開催し、文学や芸術に触れる場を提供した。サマーナイトの催しは、午後8時まで開館する7月・8月の土曜日の夕刻から、アトリウムロビーにて演奏会を開催し、多彩な芸術活動に触れる機会を提供した。クリスマスえほんコンサートは、絵本を読み聞かせるおはなし会を開催し、子どもたちが絵本などに接することで、物語の楽しさに親しむきっかけになることを目指した。

移動水族館は、親子連れや子どもたちが気軽に水辺の生き物に触れることができる機会とした。

ガリ版ワークショップでは、心平がガリ版で詩集を作ったことにちなみ、かつての印刷機材、技術に触れる機会とした。また、参加者作品紹介は、ガリ版で印刷した年賀状など、ワークショップの作品で年始の来館者を迎えるとともに、当館の多彩な事業内容の一端を紹介する機会とした。

文芸講演会「桃太郎と鬼」は、福島県田村郡三春町在住の芥川賞作家で僧侶の玄侑宗久氏を講師に迎え、時代とともに変遷する鬼の正体や自作について講演した。

(ア) いわき濤笛会山口流篠笛コンサート「竹の遠音 祈りを奏でる」
5月7日(日)14時～15時 52人 草野心平の詩に触れながら季節にちなんだ曲目などを篠笛の音色で紹介した。
(イ) 「文学散歩 草野心平の故郷・小川町」
5月14日(日)9時～11時 11人 生誕120周年を迎えた草野心平の故郷である小川町の町並みを歩き、草野心平とその作品への関心を深めた。
(ウ) サマーナイトの催し
a コンサート「蛙が泳ぐ天の川」 7月1日(土)18時～19時 59人 b コンサート「ハープで奏でるジャパニーズポップス」 7月8日(土)18時～19時 70人

(ウ) サマーナイトの催し
c 朗読会「怖くておもしろい昔話の世界ー日本人の心の中に宿る原風景ー」 7月29日(土)17時～18時30分 45人
d コンサート「語るシャンソン」 8月5日(土)18時～19時 43人
e コンサート「デュオジャズズナイト」 8月26日(土)18時～19時 63人
(エ) アトリウムコンサート
8月6日(日)14時～15時 68人 いわき市立小川中学校吹奏楽部の生徒が部活動において練習した楽曲のほか、広く親しまれている楽曲を演奏した。
(オ) 移動水族館（協力 ふくしま海洋科学館）
8月27日(日)10時～15時 337人 親子連れや子どもたちに、海辺の生き物に親しむ場を提供した。開催に併せ、地元農家などが小川町の農産物や軽食、飲料を販売した。
(カ) ガリ版ワークショップ
12月2日(土)13時30分～15時 13人 草野心平が謄写版印刷機（ガリ版）で詩集を作ったことにちなみ、オリジナルのカードを作り、かつての印刷機材、技術に触れる機会とした。
(キ) クリスマスえほんコンサート
12月17日(日)14時～15時 65人 絵本の読み聞かせと演奏会に併せ、文学館ボランティアの会会員が扮するサンタクロースがお菓子をプレゼントするなど、親子連れが多数参加し、楽しんだ。
(ク) 「ガリ版ワークショップ」参加者作品紹介
1月2日(火)～同8日(月)祝 12月に開催したガリ版ワークショップの作品を紹介し、年賀状などで年始の来館者を迎えた。
(ケ) 文芸講演会「桃太郎と鬼」
2月12日(月)14時～15時30分 99人 福島県田村郡三春町在住の芥川賞作家で僧侶の玄侑宗久氏を講師に迎え、文学への関心を高める機会とした。

ウ 出前講座・展示

要請を受け、いわきの文学に関する講義及び出前展示を実施し、市内の文学者について理解を深める機会を提供した。1団体、29人が受講した。詳細は3-(4)-アのとおり。

エ 地域との連携

文学館周辺等の団体と連携することによって、地域の活性化を図る機会とした。

(ア) 第46回吉野せい賞表彰式・記念講演会（主催 吉野せい賞運営委員会）
11月4日(土) 70人 いわきゆかりで草野心平との交流もあった吉野せいの顕彰事業で、文芸評論家の斎藤美奈子氏を講師に迎え、「近代文学に見る出世と恋愛」について講演した。
(イ) 令和6年いわき市小川地区成人式（主催 いわき市成人式実行委員会）
1月7日(日)11時30分～12時30分 57人 いわき市小川地区の成人式を小講堂で開催した。

オ 草野心平生誕120周年にかかる連携

令和5年度は、草野心平生誕120周年を迎えたことから、関係機関と連携し、様々な企画を展開した。市内はもとより県内外へ向けても詩人や心平作品の魅力の発信に取り組み、年間入館者数が前年度比2,023人増加したことの1つの要因となったと考えられる。

(ア) 連携事業

月日・期間	連携施設	内容
4月1日(土)・ 同4日(火)	新常磐交通 いわき観光まちづくりビューロー	草野心平生誕120周年 草野心平のふるさとをたどるバスツアー 計23人参加
4月28日(金)～ 10月15日(日)	いわき総合図書館	共催展示「本からたどる草野心平」

月日・期間	連携施設	内 容
5月12日(金)～ 7月30日(日)、 11月9日(木)～ 3月3日(日)	いわき芸術文化交流館	草野心平の詩篇パネル、肖像写真パネルを展示
5月27日(土)	いわき芸術文化交流館	おでかけアリオス NUU 親子で楽しむ 詩とうたのコンサート 56人鑑賞
7月27日(木)～ 10月1日(日)	中原中也記念館	特別企画展「草野心平と中原中也」 資料貸出し及び図録への寄稿
9月2日(土)～ 10月29日(日)	勿来関文学歴史館	令和5年度テーマ展「草野心平生誕120 周年記念 草野心平書の詩歌碑～石に 刻まれた心平の書～」詳細は3-(4)-イ のとおり。
1月13日(土)～ 2月24日(土)	生涯学習プラザ	草野心平生誕120周年記念講座「交友で たどる草野心平の生涯～死んだら死ん だで生きてゆくのだ～」全6回。詳細は 3-(4)-イのとおり。

(イ) 新聞記事・ラジオ放送等

発行月日	機 関 名	内 容
4月15日(土)～ 5月13日(土)	福島民報	「ふくしま人 草野心平」(毎週土曜全5回寄稿)
5月12日(金)	福島民報	「『蛙の詩人』草野心平 生誕120周年」(企画広告)
	福島民友	「草野心平生誕120周年 いわきが生んだ『蛙の詩人』」 (企画広告)
5月28日(日)	河北新報	「東北の文化人と親交深く いわき出身・草野心平生誕 120年」
5月29日(月)	ラジオ福島	開局70周年記念特別番組 「草野心平生誕120周年 蛙の詩人が歩んだジグザグロード」
6月4日(日) ・同5日(月)	読売新聞	「心平とふるさと 生誕120年」(上・下)
8月	詩とファンタジー 第46号(かまくら 春秋社)	特集1 草野心平(寄稿)

カ 指定管理施設との連携

前述した草野心平生誕120周年にかかる連携で2事業、その他2事業を実施した。詳細は3-(4)-イのとおり。

キ 文学館ボランティアの会事業

朗読サロンは、朗読に気軽に接し、かつ楽しく学べる講座を通して、文学や表現の魅力に触れる機会とした。文学館ボランティアの会会員が講師を務め、市民ボランティアの活用にもつながっている。また、今年度は草野心平生誕120周年を記念して多くの事業を実施した。文学散歩は、新型コロナ流行後初めてのバスツアーを実施した。

ア) 朗読サロン
4月15日(土)、5月13日(土)、6月3日(土)、7月1日(土)、8月5日(土)、9月2日(土)、10月7日(土)、11月11日(土)、12月9日(土)、1月13日(土)、2月3日(土)、3月2日(土)いずれも11時～12時 計75人
イ) 朗読体験セミナー
8月19日(土)13時～17時 19人
ウ) 朗読実践講座
9月17日(日)、10月21日(土)、11月18日(土)、12月23日(土)いずれも13時～17時 計66人
エ) 親子で楽しむ絵本よみかせーみんなで絵本を読みあいましょうー
10月15日(日)13時～14時30分 22人

(イ) 文学散歩「我孫子文士村を歩こう」
11月23日(木)祝 24人 大正時代を中心に白樺派の文士が集った手賀沼湖畔を散策し、文学への理解を深めた。
(ロ) こどものためのカエルコンサート
3月3日(日)14時～15時 66人 クラシックやアニメ映画主題歌、童謡などをピアノとフルートで演奏し、子どもたちに生演奏の音楽に親しむ機会を提供し、好評を得た。
(ハ) 居酒屋「火の車」一日開店
3月10日(日)11時～12時 20人 居酒屋「火の車」の当時の模様を、草野心平の随筆などを読むことで紹介し、心平が命名したお品書きにちなんだお土産を提供した。

ク 草野心平生家の催し

「心平誕生月のキャンドル展示」では、小川地区の児童がカエルのキャンドルを製作することでふるさとに親しみをもつきっかけとし、生家に展示することで来館者の好評を得た。

カエルのクラフトワークショップは、地域住民や親子連れの参加者が見られ、郷土の詩人に思いを寄せ、市民交流の場を提供するとともに、生家に親しむ機会とした。「子どもじゃんがら」没後36回忌「心平忌」・第29回「心平を語る会」、「草野天平の集い」は、草野心平生家ボランティアの会と連携しながら、郷土の詩人を偲ぶひと時を参加者と共有した。

(ア) 心平誕生月のキャンドル展示
5月12日(金)～6月25日(日) 150人 草野心平が詩の主題のひとつとした蛙をテーマに、生家に暮らした頃の心平と同年代の児童が作成したキャンドルを展示した。
(イ) カエルのクラフトワークショップ
7月22日(土)14時～15時 10組26人 草野心平が蛙を主題とした詩を多く作ったことにちなみ、クラフトバンドでカエルのカゴを作るワークショップを実施した。
(ロ) 子どもじゃんがら
8月13日(日)11時～11時20分 120人 小玉郷土芸能クラブによるじゃんがら念仏踊を実演し、お盆供養を行った。
(ハ) 没後36回忌「心平忌」・第29回「心平を語る会」
11月12日(日) 15人 草野心平の命日(11月12日)にちなみ、「植物も動物」と表現した心平が愛した生家の庭の草木を、園芸ソムリエである(株)HERVEST代表、芦澤久美子氏の解説を聴き、心平の命日を偲んだ。
(ニ) 草野天平の集い
2月25日(日)13時30分～14時30分 42人 草野天平の誕生月にちなみ、彼が幼少期などを過ごした心平生家で、詩集『ひとつの道』収載作品の朗読にフルートとギターによるシューベルトの楽曲を織り交ぜながら、天平作品の魅力を紹介することで郷土の詩人を偲んだ。

ケ 事業懇談会

日 時	出席委員数	議 題
第1回事業懇談会 9月23日(土)祝 10時30分～11時30分	8人	令和4年度いわき市草野心平記念館の実施事業について 令和5年度いわき市草野心平記念館の事業について その他事項
第2回事業懇談会 3月9日(土) 10時30分～11時30分	7人	令和5年度いわき市草野心平記念館の実施事業について 令和6年度いわき市草野心平記念館の実施計画について その他事項

(2) いわき市暮らしの伝承郷

いわき市鹿島町下矢田字散野14番地の16 平成11年7月18日開館
委託者及び指定管理期間 いわき市 平成31年4月1日～令和6年3月31日

令和5年度の入園者数は14,263人で、前年度比763人の増であった。前年度より入園者が増えている要因は、5月から新型コロナウイルス感染症が感染症法で5類に移行したことであると考えられる。

伝承郷の中心事業である景観復元・伝承・管理作業は、「昔の暮らしの景観復元と伝承」をコンセプトにし、今年度も畑作・里山作りのほか、干し柿作りや盆棚飾り、餅花作りなどの年中行事を行いながら、古民家を活かした生活復元の展示を行った。

常設展示事業の一環として、園内の見学に活用できるワークシート「ワクワク探検in伝承郷」を配布している。園内での配布と同時にホームページでの公開も行い、小学校の事前学習や見学の資料として活用されている。

また、前年度の旧猪狩家の茅葺屋根葺き替えに引き続き、今年度は旧川口家の茅葺屋根葺き替えを実施した。工期中には現地見学会を開催し、市民に文化財への理解を深めてもらう機会とした。

さらに、子どもたちを対象とした「キッズじゃんがら体験教室」や「めざせ！『子ども落語家』講座」は人気が高かった。特に「めざせ！『子ども落語家』講座」は、受講した子どもたち同士が切磋琢磨し、練習を重ねた。発表会（伝承郷子ども寄席）には保護者の姿も多く、成長した子どもたちの姿に満足げであった。

その他、ボランティアの育成や資料収集・整理作業、民俗調査・レファレンスなどを通年で実施した。

ア 企画展

前年度から継続の企画展「磐城平城の絵図と城下の年中行事」では、江戸時代に描かれた城絵図や城下絵図を展示するとともに、磐城平城下で行われていた年中行事や祭礼などを紹介した。また、関連事業として安藤家に伝わる御家流の茶道や香道の体験も開催し、多くの方が参加した。

第1回企画展「愛谷江筋と流域の歴史」では、江戸時代初期に内藤家の家臣三森治右衛門などが整備した農業用水路「愛谷江筋」を取り上げた。江筋の概要や歴史などにかかわる資料を展示するとともに、流域に所在する文化財や史跡を紹介した。

共催展は、「三和の針仕事 おじょんこ展Ⅱ」をおじょんこstyle@上三坂と、「日本美術刀剣保存協会いわき支部 刀剣鑑賞展2024—磐城ゆかりの刀—」を日本美術刀剣保存協会いわき支部と共同で開催した。

ロビー展では、年中行事に合わせた民具の展示や体験教室の作品などを展示した。

(ア) 令和4年度第2回企画展「磐城平城の絵図と城下の年中行事」
3月18日(土)～6月18日(日) 3,175人 江戸時代に描かれた城絵図や城下絵図を展示するとともに、磐城平城下で行われていた年中行事や祭礼などを紹介した。
関連事業
a 展示解説会 4月9日(日)、同22日(土)、5月20日(土)、6月4日(日)いずれも13時30分～14時30分 計39人
b 旧磐城平藩主「大名の茶の湯」 5月13日(土)10時～14時50分 8回実施 計47人
c 安藤家御家流香道「八橋香席」 5月20日(土)11時～12時、13時～14時 計12人
(イ) 第1回企画展「愛谷江筋と流域の歴史」
8月5日(土)～12月17日(日) 6,266人 愛谷江筋は、江戸時代初期に内藤家の家臣、三森治右衛門などが整備した農業用水路である。本展では、江筋の概要や歴史などにかかわる資料を展示するとともに、流域に所在する文化財や史跡を紹介した。
関連事業
展示解説会 8月5日(土)、同26日(土)いずれも13時30分～14時30分、9月16日(土)、10月21日(土)、11月18日(土)いずれも10時～11時 計29人

(ウ) 共催展「三和の針仕事 おじょんこ展Ⅱ」	
10月14日(土)～11月5日(日) 1,303人	三和町でおじょんこの継承に取り組んでいる「おじょんこstyle@上三坂」会員の作品を展示し、活動の成果を発表した。また、会期中にはおじょんこの綿入れ実演を行った。
(エ) 共催展「日本美術刀剣保存協会いわき支部 刀剣鑑賞展2024—磐城ゆかりの刀—」	
2月1日(木)～2月11日(日) 759人	磐城ゆかりの刀剣をはじめ、いわき市や個人所蔵の赤羽刀の展示や県内の鉄づくりの歴史をパネルや写真で解説した。
(オ) ロビー展	
a	端午の節句飾り 4月22日(土)～6月11日(日) 市民から寄贈を受けた絵幟6点、節句飾り4点と解説のパネルを展示した。
b	七夕飾り 7月7日(金)～8月7日(月) 笹飾りと藁馬、平の七夕まつりの歴史についての解説パネルを展示した。
c	フラワーアレンジメント作品展「春夏秋冬」 9月2日(土)～同22日(金) フラワーアレンジメント体験教室の受講者が作成した作品を展示し、成果を発表した。
d	津軽こぎん刺し作品展 10月1日(日)～同22日(日) いわき市出身で津軽こぎん刺し作家塩谷美江氏の作品を中心に、こぎん刺し教室の受講者が作成した作品を展示し、成果を発表した。
e	消しゴムはんこロビー展「クリスマス」 11月9日(木)～同30日(木) 消しゴムはんこ教室の受講者が作成した作品を展示し、成果を発表した。
f	おひなさま 2月24日(土)～3月31日(日) 市民から寄贈を受けた雛人形6点、関連資料4点と解説パネルを展示した。

イ 講座・講演会

伝承郷講座は、中央台公民館を会場としたことで、定員も増え、受講者から好評だった。館長講座は受講希望者が多く、毎回楽しみにしている受講生が多い。

今年度新たに開講した古文書講座は大変好評で、市民の歴史・民俗に対する関心の高さが窺えた。

(ア) 伝承郷講座 (会場 いわき市立中央台公民館)	
10月8日(日)、同29日(日)、11月26日(日)、12月3日(日)いずれも14時～15時30分 全4回 計130人	当館館長、学芸員、丹野香須美氏(福島県文化財保護審議会委員)、岩崎真幸氏(福島県民俗学会会長)が講師を務め、第1回「いわきの民話をめぐると話」、第2回「いわきの民間信仰と石塔—三和町を事例に—」、第3回「民俗文化財ってなに?～いわき市の指定民俗文化財を中心に～」、第4回「民俗研究のパイオニアたち—福島県の場合—」について講義した。
(イ) 館長講座	
4月23日(日)、5月21日(日)、6月24日(土)、7月23日(日)、8月20日(日)、9月23日(土)祝、11月25日(土)、1月28日(日)、2月23日(金)祝、3月23日(土)いずれも13時30分～15時 全10回 計206人	当館館長が、「田植えと端午の節句」、「雨乞い」、「じゃんがら念仏踊り①」、「じゃんがら念仏踊り②」、「愛谷江筋の開削経緯について」、「長橋(尼子橋)を架ける一史実と伝説—」、「磐城平藩・浅香竹右衛門事件の虚と実」、「磐城平藩小姓騒動・関伽井嶽薬師の導き」、「『永井の昔はなし—ふるさとの民俗と伝承—』を読む」、「戊辰戦争—戦いの中での人々の心情—」について講義した。
(ウ) めざせ!「子ども落語家」講座 (連続講座と発表会)	
a	めざせ!「子ども落語家」講座 6月24日(土)、7月15日(土)、8月19日(土)、9月23日(土)祝いずれも10時～12時 全4回 計40人 山椒家小粒氏を講師に迎え、子どもたちが古典芸能「落語」を学び、最終回に発表した。
b	子ども寄席(発表会) 10月22日(日)10時～12時 69人
(エ) 古文書講座	
1月13日(土)、1月27日(土)、2月12日(月)休、2月24日(土)いずれも10時～12時 全4回 計81人	田仲桂氏(いわき市文化財保護審議会委員)を講師に迎え、江戸時代の磐城平藩に関する出来事などが書かれた資料を参考に、古文書読解の基礎を学んだ。
(オ) 旧川口家住宅茅屋根葺き替え工事現地見学会	
2月10日(土)10時～11時、13時～14時 33人	(株)茅葺屋根保存協会の職員を講師に迎え、旧川口家住宅茅屋根葺き替え工事の説明と現地見学を行った。

ウ 体験事業

体験学習会（主催）では、「民話の語り」「竹かご作り」や「正月飾り作り」など、季節に合わせた内容で26回計画し、うち24回実施した。前年度と同様、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため各体験学習に定員を設け、事前申込制として実施した。定番化し好評を得ているものに加え、新規のプログラムを取り入れるなどし、幅広い年齢層が参加できるよう取り組んだ。「伝承郷で見つける自由研究」は、近隣の小学校の児童全員にチラシを配布するなどの広報をしたが、応募者がなく中止した。

共催事業では、各種団体の要望で体験教室や演奏会などを共催し、好評を得、新たな入園者層を開拓する機会となった。今後も各種団体との連携を図り事業の充実を図っていく。また、学習管理棟休憩コーナーを会場に、ハーモニカ、ギター、箏・尺八や篠笛などの演奏会や寄席、フラメンコライブなどを実施した。各団体の熱演に入園者の満足度も高かった。

「キッズミュージアムin伝承郷」は、園内全域を会場とし、「麦わらのコースター作り」「ビニール袋でパラシュート作り」の工作体験や、いわき海浜自然の家と連携し、「輪投げ」「ゴム鉄砲射的」などの昔遊び体験を実施した。近年では体験することの少ない昔遊びの場を提供することができた。

「キッズじゃんがら体験教室」では、下綴青年会の方々を講師に迎え、小学生向けのじゃんがら念仏踊りの体験教室を開催した。対象は小学生としていたが、同行していた保護者や小さな子どもたちも加わり賑やかな講座となった。

ア) 体験学習会

事業名	開催日時	参加者数
キッズミュージアムin伝承郷	5月3日(水)祝10時～12時	141人
けん玉道場	5月5日(金) 10時～12時	16人
伝承郷寄席	5月14日(日)、3月17日(日) 14時～16時	計97人
民話の語り	5月27日(土)、9月2日(土)、11月11日(土)、1月6日(土)、3月9日(土) 13時30分～14時30分	計92人
伝承郷で見つける自由研究 (連続講座)	7月22日(土)、同29日(土)	中止
藁馬作り	7月30日(日) 10時～12時	11人
キッズじゃんがら体験教室	9月3日(日)、同10日(日) 10時～11時30分	計20人
竹かご作り(連続講座)	9月17日(日)、同18日(月)祝 9時30分～12時30分	計20人
ベビーおじよんこ作り (連続講座)	10月14日(土)、同21日(土)、同28日(土)、11月4日(土) 9時～12時	計14人
押し花カレンダー作り	11月5日(日) 10時～12時	11人
正月飾り作り(玄関用)	12月16日(土) 9時30分～12時	14人
正月飾り作り(神棚用)	12月17日(日) 9時～12時	10人
百人一首	1月4日(木) 13時30分～15時	7人
布ぞうり作り(連続講座)	2月17日(土)、同18日(日) 9時30分～12時	計18人

イ) 共催事業 ()内は共催団体等

事業名	開催日時・回数	参加者数
木よう体験教室 (工房光・萩原光明氏)	4月6日(木)～3月28日(木)毎週木曜日10時～15時 (10月から10時～12時) 計48回	計449人
伝承郷絵手紙教室 (茨木美奈子氏)	4月12日(水)～1月10日(水)原則第2水曜日 10時～12時 計7回	計16人
家族で環境マイスターになろう! (ふるさとの気、いわき市環境企画課)	4月15日(土)～1月20日(土) 10時～12時 計4回	計44人
里山の暮らし体験 (ふるさとの気)	4月16日(日)～8月20日(日)原則第3日曜日 9時30分～14時 計4回 ※5月、9月、10月、11月以降は中止	計16人
フラワーアレンジメント教室 (落合陽子氏)	4月28日(金)～3月22日(金)原則第4金曜日 10時30分～15時30分 計12回	計151人
フラメンコライブ“Cocuu” (リベルラス ロハス)	5月28日(日) 14時～15時30分	35人
ハーモニカ演奏会 (泉ハーモニカクラブひばり)	6月3日(土)、10月7日(土)、3月2日(土) 10時30分～11時30分	計48人
七夕コンサート (箏アンサンブル雷神)	7月9日(日) 14時～15時	23人

事業名	開催日時・回数	参加者数
小雀落語会 (小名浜雀笑落語会)	7月16日(日)、9月30日(土)、11月19日(日) 14時～16時	計103人
名月篠笛演奏会 (いわき濤笛会)	9月24日(日) 14時～15時	27人
津軽こぎん刺しワークショップ (塩谷美江氏)	10月4日(水) 9時～11時30分	8人
ギターコンサート (コン・アモーレ)	10月15日(日) 14時～15時	22人
朗読会(朗読サロンミモザ)	12月2日(土) 13時～14時	52人
福島お茶まつりinいわき (日本茶インストラクター協会福島県支部)	12月10日(日) 11時～15時	68人
新春箏コンサート(筑紫野会)	1月7日(日) 14時～15時	33人
桃の節句篠笛演奏会 (いわき濤笛会)	3月3日(日) 14時～15時	30人

エ 伝統芸能実演

市内に残る伝統芸能の実演は毎年恒例となっており、楽しみに入園される方も多い。今年度は「高野じゃんがら念仏保存会」と「滝尻棒ささら保存会」が実演した。

ア) じゃんがら念仏踊り
8月13日(日)13時30分～14時30分 43人
イ) 滝尻の棒ささらと三匹獅子舞
8月27日(日)13時30分～14時30分 39人

オ 年中行事再現

季節の節目にいわき地方で行われている様々な年中行事を再現・展示した。年配の来園者はかつての行事を懐かしむ一方、若年世代や子どもたちには新たな経験として新鮮に感じられるなど、地域に受け継がれた風習に興味を持つきっかけとなった。また、年中行事の再現は写真愛好家の被写体としても関心を集めた。

行事名	月日・期間
おひなさま(令和4年度)	2月25日(土)～4月9日(日)
端午の節句飾り	4月22日(土)～6月11日(日)
七夕飾り	7月7日(金)～8月7日(月)
盆棚飾り	8月7日(月)～8月17日(木)
蚊帳吊り	7月7日(金)～10月8日(日)
二百十日	9月1日(金)
お月見・お月見どろぼう	9月29日(金)(旧暦8月15日)
干し柿作り	11月11日(土)
エビスコ	12月2日(土)(旧暦10月20日)
煤払い	12月4日(月)・同11日(月)
こと八日	12月8日(金)
神帰り	12月13日(水)(旧暦11月1日)
正月飾り	12月28日(木)～1月15日(月)
山入り	1月6日(土)
農立て	1月11日(木)
小正月の餅花飾り	1月15日(月)
節分	2月3日(土)
こと八日	2月8日(木)
初午	2月12日(月)(休)
おひなさま	2月24日(土)～3月31日(日)
エビスコ	2月29日(木)(旧暦1月20日)

カ 調査研究事業

市内各地の民俗の記録撮影や関係者への聞き取り調査を実施した。また、市民からの民具寄贈受入れや民具調査を通年で実施した。寄贈資料は31件(計213点)で、受け入れ後台帳に登録した。

㉞) 調査研究

期間・月日	内 容
4月～7月	愛谷江筋について、通水式や江筋弁財天祭りなどを調査した。
6月～8月	四倉町上仁井田地区、内郷町高野地区のじゃんがら念仏踊りについて調査した。
6月17日(土)～同18日(日)	立子山たたらが行った「古代たたら製鉄復元実験」に参加した。
8月6日(日)	いわき七夕まつり「いわき七夕踊りの夕べ」で、市内芸能保存会や団体による「じゃんがら念仏踊り」や「三匹獅子舞」などを取材した。
8月～9月	内郷町高野地区と高坂地区の三匹獅子舞について調査した。
9月～10月	三和町内各地に所在している石塔を調査した。
10月7日(土)、同14日(土)	三和町上三坂地区の「やっちき踊り」について調査した。
11月19日(日)	昭和から平成にかけて作成された上棟式の絵馬を調査した。

㉟) 資料整理、受入等

月 日	寄贈資料
4月7日(金)	鯉のぼり
4月8日(土)	黒電話、いわきだるま、双葉ダルマ
4月19日(水)	いわきだるま
4月26日(水)	唐箕、足踏み脱穀機、電子オルガン、節句人形、兜飾り、教育勅語、地図、国鉄関係資料、和本、地券、盃
5月29日(月)	火鉢
6月2日(金)	蚊帳、足踏み脱穀機、ひな人形、鯉のぼり
6月5日(月)	人足札
6月24日(土)	唐箕、車馬鍬、足踏み脱穀機、千歯こき
6月25日(日)	久之浜張子の木型、絵のぼり
7月21日(金)	観光地しゃもじ、寺社参詣記念箸
8月19日(土)	釣り竿
8月20日(日)	久之浜張子、手拭い、五玉そろばん、幟、茶箱
9月22日(金)	飯切
9月25日(月)	長持、遠野和紙
9月27日(水)	レジスターとアイロン
10月2日(月)	縄織い機、肥え柄杓
10月12日(木)	「春舟水夫貸附帳」、「秋舟水夫貸附帳」、「鯉舟水夫貸台帳」、「秋春水夫貸附帳」、「荷送控帳」、「金銭出入帳」、「鯉漁場観察原図」、地券入
10月13日(金)	じゃんがら人形、『郷土の玩具』の冊子
11月8日(水)	タイプライター
11月19日(日)	飯切、椀、引出物
1月17日(水)	昭和時代の歳暮・バーゲンセールチラシ(藤越、サカイ食品店、エンバ)
1月24日(水)	蓑、釜敷、背中あて、笠、わらじ、わらぐつ、書籍及び関連資料
2月5日(月)	雪見障子
2月12日(月)(休)	枺
2月16日(金)	茶箱、ひな人形、羽子板、蓑、くけ台、手鉤(漁業用)、木札(寺院)
2月19日(月)	節句飾り、雛壇
2月25日(日)	写真、香典帳、葬儀費用帳、婚姻届、戸籍謄本(大正・昭和時代)
2月29日(木)	絵のぼり、津和野和紙人形
3月24日(日)	冷蔵庫

キ 園内管理事業（業者委託を除く） 期間 4月1日(土)～3月31日(日)

園内景観復元・伝承・管理事業をボランティアの協力を得ながら行った。内容は、畑作（耕作・除草）、里山づくり（下草刈り・落葉集め等）、除草（民家周辺・通路）、落ち葉掻き・堆肥作り、植木剪定・枝落とし、垣根作り、池の浚渫、民家清掃（ハタキ・掃き・雑巾がけ・障子張り）、囲炉裏の火焚き、薪作り、花木の展示（民家神棚等）、園内危険箇所点検・修繕などである。

古民家内部は、定期的に囲炉裏に火を入れ燻蒸するとともに、できる限り人が生活していた時と同じように年中行事を行い、手入れをしている。

古民家は維持管理を行いながら、生活の場として使われていた当時に再現展示するために、薪や餅花、神棚の榊などを配し、季節に応じた模様替えを行うとともに、民家周辺の除草や庭木の手入れなどを行い園内の景観維持に努めている。また、民家ゾーンでは、景観の素朴さから結婚式の前撮りやアニメファンがキャラクターの衣装に扮し記念撮影する場所としても注目を集めている。記念撮影する来園者の多くは市外からの来訪者で、文化財を観光資源として活用する方法にも広がりが見えてきた。

ク ボランティア育成事業

活動は大きくガイド、花と野菜作り、民家維持管理・年中行事の3つに分かれる。ガイドは団体の入園者に対する案内が主で、月に1回研修を行い案内に必要な知識を学んでいる。花と野菜作り、民家維持管理の活動は不定期だが、ボランティアそれぞれが活動日を決め、希望の内容に沿って囲炉裏の火焚きや民家の清掃などの活動を行う。年中行事は施設側が日程を決め、事前に活動を依頼し行う。年間を通して様々な活動に多くのボランティアが参加し、施設の運営を支えている。

ア) ガイドボランティア例会			
4月24日(月)～3月25日(月)	原則第4月曜日	13時30分～15時	12回実施 計71人
イ) 園内ガイド、花と野菜作り、民家維持管理・年中行事			
4月1日(土)～3月31日(日) 計957人			

ケ 団体利用

園内の古民家・昔の道具等の解説及び昔遊び・石臼の使い方などの体験指導を実施した。民家ゾーンでは、アニメファンがキャラクターの衣装に扮し記念撮影を行う団体の利用もあった。次のように82団体、計3,275人が利用した。

月 日	団 体 名	利用者数
4月6日(木)	いわき光成園	28人
4月9日(日)	こいと旅館	40人
5月12日(金)	北茨城市中郷公民館	25人
5月26日(金)	いわき秀英小学校	46人
6月1日(木)	いわき市立勿来第三小学校	11人
6月5日(月)	土浦視覚障害福祉協会	30人
	新潟市民生委員	10人
6月22日(木)	新地町郷土史研究会	16人
6月28日(水)	いわき市立中央台南小学校	37人
7月6日(木)	福島県立光洋高等学校	14人
7月13日(木)	福島県立平支援学校高等部	7人
	本宮市	24人
7月30日(日)	ドイツスポーツ少年団	9人
8月26日(土)	平第二うめか土曜学習	31人
9月4日(月)	いわき市立豊間小学校	45人
9月7日(木)	いわき市立泉小学校	66人
	いわき市立平第二小学校	67人
9月8日(金)	いわき市立錦東小学校	34人
	いわき市立泉小学校	65人
9月11日(月)	いわき市立小名浜第一小学校	53人
9月13日(水)	いわき市立大浦小学校	55人
	いわき市立御厩小学校	45人
9月14日(木)	いわき市立菊田小学校	57人

月 日	団 体 名	利用者数
	いわき市立小川小学校	24人
9月15日(金)	いわき市立長倉小学校	63人
	いわき市立平第六小学校	44人
	いわき市立藤原小学校	22人
9月16日(土)	すいーとぴーデイサービスセンターひらくぼ	22人
9月20日(水)	いわき市立平第一中学校	31人
	いわき市立草野小学校	81人
9月21日(木)	いわき市立平第三小学校	70人
	いわき市立汐見ヶ丘小学校	49人
	いわき市立高野小学校	15人
9月22日(金)	いわき市立小名浜東小学校	72人
	いわき市立小名浜西小学校	84人
	いわき市立湯本第二小学校	16人
	福島市民家園ボランティア	13人
9月27日(水)	いわき市立小名浜第三小学校	62人
	いわき市立中央台南小学校	39人
	いわき市立江名小学校	13人
9月28日(木)	いわき市立永崎小学校	39人
	いわき市立好間第二小学校	41人
9月29日(金)	いわき市立高久小学校	29人
9月30日(土)	けやき共同作業所	17人
10月4日(水)	いわき市立平第五小学校	84人
10月5日(木)	いわき市立勿来第一小学校	82人
10月6日(金)	いわき市立平第四小学校	46人
	いわき市立植田小学校	93人
10月12日(木)	いわき市立藤原小学校	22人
10月13日(金)	いわき市立湯本第三小学校	39人
	いわき市立内町小学校	42人
10月18日(水)	いわき市立磐崎小学校	79人
10月19日(木)	いわき市立夏井小学校	19人
10月20日(金)	いわき市立平第一小学校	78人
10月23日(月)	神谷こども園	42人
10月27日(金)	いわき市立小名浜第二小学校	72人
	いわき市立泉北小学校	106人
11月2日(木)	いわき市立中央台南小学校	38人
11月5日(日)	田村市船引公民館	46人
	あきる野市町内会・自治会連合会	27人
11月10日(金)	いわき市立鹿島小学校	35人
11月15日(水)	松村看護専門学校	29人
11月17日(金)	川俣町中央公民館	33人
	いわき市立赤井小学校	49人
11月18日(土)	東京土建三鷹武蔵野支部	16人
11月22日(水)	いわき市立中央台南小学校	38人
11月24日(金)	いわき市立勿来第二小学校	29人
12月1日(金)	いわき市立四倉小学校	54人
12月2日(土)	中央台みなみ土曜学習	25人
12月14日(木)	いわき市立三和小学校	24人
12月16日(土)	株式会社アイディーエス(東京都)	44人
	二宮地区地域公民館連絡協議会(栃木県)	11人

月 日	団 体 名	利用者数
1月19日(金)	いわき市立中央台北小学校	44人
1月26日(金)	いわき市立中央台東小学校	51人
2月4日(日)	慈恩寺自治会(埼玉県)	24人
2月7日(水)	双葉町立双葉南北小学校	4人
2月9日(金)	いわき市立高坂小学校	74人
2月10日(土)	日本大学工学部	14人
2月14日(水)	東日本国際大学	42人
2月23日(金)祝	いわき市文化交流課	6人
3月21日(木)	いわき市立中央台南小学校	40人
3月25日(月)	北茨城市むかし体験教室	13人

コ 出前講座

要請を受け、いわきのじゃんがら今昔についての講座や、昔の暮らしや道具の説明、石臼と洗濯板の使い方の体験指導を行った。19団体、計670人が受講、体験した。詳細は3-(4)-アのとおり。

サ 連携事業

当財団管理施設や地域と連携し、体験事業を行った。また、教育機関から要請を受け、中学生の職場体験を行った。

(ア) 指定管理施設との連携

当財団指定管理施設と連携し、2事業を実施した。詳細は3-(4)-イのとおり。

(イ) 地域との連携

藁馬作り体験教室(主催 いわき七夕まつり実行委員会)
8月7日(月)13時～15時 参加者 11人 いわき産業創造館で、藁馬作り体験の出前イベントを行った。

(ウ) 教育機関との連携(職場体験)

月 日	学校名	参加者数
9月20日(水)	いわき市立平第一中学校	3年生5人

シ レファレンス対応

資料調査や貸し出し、問い合わせなど計25件に対応した。

(ア) 資料調査 4件

月 日	依 頼 者	内 容
7月7日(金)	小島大武氏(日本大学工学部)	卒業論文執筆のための古民家調査
9月20日(水)	佐野充弘氏	古民家の押板の調査
10月12日(木)	鈴木健人氏(千葉県立中央博物館)	次年度企画展のための資料調査
11月4日(土)	星洋和氏(双葉町教育委員会)	双葉ダルマ、久之浜張子の資料調査

(イ) 資料貸出 4件

貸出月日	返却月日	貸 出 先	内 容
6月26日(月)	9月30日(土)	とみおかアーカイブミュージアム	企画展「ふくしまの張り子」で展示するため、久之浜張子を貸出
10月13日(金)	10月18日(水)	松の実こども園	園内行事で脱穀体験を行うため、千歯こきを貸出
2月10日(土)	3月2日(土)	双葉町立双葉南北小学校	3年生社会科学習「うつりかわる暮らし」のため、昔の道具を貸出
2月23日(金)祝	2月29日(木)	いわき市立郷ヶ丘小学校	

(ウ) 問い合わせ対応 17件

ス 企画展示室使用状況

施設の利用促進を図るため企画展示室の貸し出しを行い、2件320人の使用があった。

会 期	展示会名・利用者数
7月6日(木)~同10日(月)	全日本写真連盟いわきマリン支部写真展 193人
7月13日(木)~同16日(日)	増井治写真展『ブナと語る』アンコール展 127人

セ 事業懇談会

日 時	出席委員数	議 題
第1回事業懇談会 7月21日(金) 13時30分~14時30分	5人	令和4年事業報告について 令和5年度事業経過報告(4~6月)及び事業計画(7~3月)について その他の事項
第2回事業懇談会 3月2日(土) 13時30分~14時30分	8人	令和5年度事業経過報告について(7~2月) 令和6年度事業計画について その他の事項

(3) いわき市勿来関文学歴史館

いわき市勿来町関田長沢6番地の1 昭和63年7月1日開館
委託者及び指定管理期間 いわき市 令和5年4月1日～令和7年3月31日

令和5年度の利用者数は8,941人で、前年度と比べて355人の増となった。利用者が増えた要因としては、行動制限の緩和や旅行支援の充実などにより、勿来の関公園を訪れる観光客数が新型コロナウイルス感染症流行前の水準に戻ってきたことが考えられる。

展示事業では、今年度から新たに、2階第1常設展示室の一角に「いわきの絵はがき～勿来関と勿来海岸」展示コーナーを設け、季節ごとに展示資料を入れ替え、利用者の観覧に供した。

また、市民ギャラリーについて、写真や文学、芸術作品の展示など創作発表の場として無料で利用可能な旨をホームページ等で周知し、施設の利用促進を図った。

さらに、特別事業として、今年度から新たに(社)いわき観光まちづくりビューローとの共催で、春と秋の行楽シーズンに合わせて勿来の関公園を巡るツアーを実施し、文学・歴史・自然の観点から当地の魅力の再発見につなげた。そのほか、前年度に引き続き「吹風殿寄席」を開催するとともに、夏休みと冬休みの時期に合わせ、外部講師の協力を得てクラフト教室を開催した。

ア 企画展

企画展・スポット展示は、いわきに根差した人物や資料を中心に紹介した。アンケートでは、いわきゆかりの文学や歴史、人物などについて、今まで知らなかったことを学べて良かったという意見や、展示を観ることで改めて地域の歴史や文学について理解できたという意見が多く寄せられるなど、好評を得た。会期中には、関連事業として講演会やギャラリートークを開催した。企画展の内容に関連する外部の研究者を講師に迎えた講演会では、企画展に関する分野をより深く理解できたと好評だった。また、ギャラリートークでは、毎月1回、学芸員が展示内容を詳しく解説した。

テーマ展1「草野心平生誕120周年記念 草野心平書の詩歌碑～石に刻まれた心平の書～」は、いわき市立草野心平記念文学館と連携した「草野心平120周年記念」として開催し、同館が所蔵する資料を展示するなど、関連市内文化施設との連携を図った。

また、第2回企画展「刀・刀・刀2～福島刀剣～」は、いわき市暮らしの伝承郷で開催された「日本美術刀剣保存協会いわき支部 刀剣鑑賞会2024(いわき市暮らしの伝承郷共催)との連携事業として開催した。

<p>(ア) 令和4年度スポット展示2「いわきの絵はがき～勿来関と勿来海岸～」</p> <p>2月18日(土)～4月18日(火) 1,923人 [4月1日(土)～同18日(火)は738人] 勿来関と勿来海岸の絵はがきを中心に風景画や観光資料なども展示し、勿来関周辺の時代ごとの遷り変わりについて紹介した。</p>
<p>(イ) 第1回企画展「山名菅村～表現を愉しんだ人格者～」</p> <p>4月22日(土)～8月27日(日) 2,733人 いわき市平菅波出身の山名菅村は俳人・教育者・歴史家・宮司など多彩な顔を持つ表現者だった。温厚な人柄が透けて見える作品と生涯を、自筆資料などで紹介した。</p> <p>関連事業</p> <p>a 講演会「菅村俳句の青春性」5月13日(土)14時～15時30分 28人 山崎祐子氏(公益社団法人俳人協会評議員)を講師に招き、菅村に影響を与えた俳人たちの紹介や菅村の作句の鑑賞など、菅村の俳句について語った。</p> <p>b 講演会「菅村と大和舞」7月23日(日)14時～15時30分 42人 山名隆弘氏[大國魂神社宮司、博士(歴史学)]を講師に招き、菅村が復興に尽力した大國魂神社の大和舞について講演した。また、大國魂神社大和舞伝承会の協力で、神楽を披露した。</p> <p>c ギャラリートーク 5月14日(日)、6月11日(日)、7月9日(日)、8月13日(日)いずれも14時～14時30分 計5人</p>
<p>(ウ) 第2回企画展「刀・刀・刀2～福島刀剣～」</p> <p>11月3日(金)祝～2月18日(日) 3,231人 江戸時代のいわき市では、根本国虎や鈴木貞則、藤嶋友重ら多くの刀匠が活躍していたことが知られている。本展では、いわき市や福島県内で活躍した刀匠の作品や刀剣にまつわる歴史を紹介した。</p> <p>関連事業</p> <p>a 講演会「日本刀について」1月7日(日)14時～15時30分 47人 高山武士氏(刀剣文化研究所主幹)を講師に招き、日本刀の定義と心について講演した。</p> <p>b ギャラリートーク 11月12日(日)、12月10日(日)、1月14日(日)、2月11日(日)いずれも14時～14時30分 計40人</p>

<p>(エ) テーマ展1「草野心平生誕120周年記念 草野心平書の詩歌碑～石に刻まれた心平の書～」</p> <p>9月2日(土)～10月29日(日) 1,231人 草野心平記念文学館と連携し、生誕120周年を迎えるいわき市小川町生まれの詩人・草野心平のいわき市周辺に残る詩歌碑と心平と親交のあったいわき市出身の詩人たちの詩歌碑を拓本や写真などで紹介した。詳細は3-(4)-イのとおり。</p> <p>関連事業 ギャラリートーク 9月10日(日)、10月8日(日)いずれも14時～14時30分 計11人</p>
<p>(オ) テーマ展2「勿来関と歌枕」</p> <p>2月23日(金)～4月16日(火) 806人[3月31日(日)現在] 歌枕として知られる勿来関は、古くから多くの歌人に詠われ、江戸時代には現在の勿来の関公園付近が勿来関の場所として考えられるようになった。本展では、勿来関にまつわる文学と歴史を紹介した。</p> <p>関連事業 ギャラリートーク 3月10日(日)14時～14時30分 7人</p>

イ 市民ギャラリー展示 表()内は主催者

市民ギャラリーの利用は計12回あり、うち3回は今回初めて利用する団体・個人だった。その内訳は、当館の年間リーフレットやオリジナルグッズにもイラストを使用している「いわき七浜イケメンプロジェクト」のイラスト展示、いわき市在住のスプレーアート作家の作品展、令和3年度にスポット展示で取り上げたいわき市遠野町出身の歌人「田部君子」の歌を、遠野和紙を用いた書道作品にして展示した「遠野和紙×田部君子～高嶋祥太作品展～」(伝統工芸遠野和紙・楮保存会)で、当該展示は田部君子の歌の魅力に再び光を当てる良い機会となった。

<p>(ア) 第13回「勿来八景」フォトコンテスト入選作品展(令和4年度から継続展示) (いわき市南部地区中心市街地活性化協議会)</p> <p>3月18日(土)～4月6日(木) 前年度の「勿来八景」フォトコンテスト入選作品の展示。</p>
<p>(イ) 第36回勿来の関歌会入選作品(勿来ひと・まち未来会議)</p> <p>4月1日(土)～3月31日(日) 第36回勿来の関歌会入選作品の展示。</p>
<p>(ウ) 俳句作品展(月俳句会、川部俳句会)</p> <p>4月8日(土)～5月7日(日) いわき市内に拠点を置いて活動する俳句会が合同で作品を展示。</p>
<p>(エ) イラスト展(小堀麻沙子 いわき七浜イケメンプロジェクト)</p> <p>5月8日(月)～6月25日(日) いわきの海産物の魅力を発信することを目的に制作されたイラスト及び漫画の展示。</p>
<p>(オ) 原爆と人間(いわき市)</p> <p>8月1日(火)～同16日(水) 原爆の悲惨さや核廃絶の取り組みなどを紹介。</p>
<p>(カ) スプレー・アート ステンシル・アート～鈴木文隆展覧会～(鈴木文隆)</p> <p>9月3日(日)～10月1日(日) いわき市在住の鈴木文隆氏によるスプレーアート作品の展示。</p>
<p>(キ) 短歌作品展(勿来短歌を楽しむ会)</p> <p>10月21日(土)～11月11日(土) 勿来地区で活動する短歌会による作品の展示。</p>
<p>(ク) Gift～金澤裕子絵画展～(金澤裕子)</p> <p>12月3日(日)～12月31日(日) 勿来町出身のアーティスト金澤裕子氏によるいわき市・双葉郡の風景を描いたアクリル画の展示。</p>
<p>(ケ) でっかいぬり絵てん(Team PICASSO)</p> <p>1月5日(金)～2月4日(日) 主催する美術教室の展覧会の企画内で、子供が制作した塗り絵を展示。</p>
<p>(コ) 遠野和紙×田部君子～高嶋祥太作品展～(伝統工芸遠野和紙・楮保存会 共催 当館)</p> <p>2月10日(土)～3月10日(日) 福島県伝統的工芸品の遠野和紙に遠野町出身の歌人田部君子の短歌を書いた高嶋祥太氏による書道作品を、遠野和紙の解説とともに展示。</p>
<p>(サ) 第14回「勿来八景」フォトコンテスト入選作品展(いわき市南部地区中心市街地活性化協議会)</p> <p>3月16日(土)～3月28日(木) 今年度の「勿来八景」フォトコンテスト入選作品の展示。</p>

(シ) 俳句作品展示会（月俳句会、川部俳句会）

3月31日(日)～4月30日(火) いわき市内に拠点を置いて活動する俳句会が合同で作品を展示。

ウ 特別事業

今年度から新たな事業として「学芸員とネイチャーガイドが案内する勿来関の文学・歴史・自然さんぽ」を開催した。本事業は4月に1回、11月に2回の計3回実施した。参加者からは「何度も足を運んだ勿来関の新たな見所を知ることができた」など大変好評を博した。

また、前年度に引き続き、特別事業として「吹風殿寄席」を開催した。日本の伝統芸能である落語を平安時代の邸宅を模した吹風殿で聴講するという趣向もあって、参加者に大変好評だった。

クラフト教室は、外部講師を招いて2回開催した。夏休みに開催した「和紙でランプシェードを作ろう！」では、勿来町出身のアーティストの指導により、和紙を用いたランプシェードを制作したほか、紙芝居や風船爆弾に関する解説も行った。冬休みに開催した「宿題の書初めを練習しよう！」では、いわき市ゆかりの書道家の指導により、楽しみながら書初めを行った。専門家の指導により内容が充実し、好評の声が多かった。

(ア) いわきあるき2023 学芸員とネイチャーガイドが案内する勿来関の文学・歴史・自然さんぽ

4月8日(土)、11月18日(土)、同25日(土)いずれも10時～13時 計37人

(一社)いわき観光まちづくりビューローと共催で開催した。当館職員とネイチャーガイドの案内のもと、勿来関にまつわる文学・歴史と勿来の関公園に広がる自然を散策した。

(イ) 吹風殿寄席

5月3日(水)祝14時～15時30分 61人

平安貴族の住まいとその庭園に触れながら、いわき市在住の落語家、山椒家小粒氏、武相亭八木助氏、七色亭小鈴氏による寄席を開いた。

(ウ) 夏休みクラフト教室 和紙でランプシェードを作ろう！

8月19日(土)13時～15時 22人

勿来町出身のアーティスト金澤裕子氏を講師に招き、当地に基地があった風船爆弾にちなみ、和紙と風船を使ったランプシェードを制作した。また、紙芝居で戦争について触れ、風船爆弾についての解説もした。

(エ) 冬休みクラフト教室 宿題の書初めを練習しよう！

1月6日(土)13時～15時 14人

小堀玄幽氏（泰書會正師範、九段）を講師に招き、小中学生に書初めを指導した。

エ 団体入館者

各種団体に対し常設展・企画展について解説し、勿来関にまつわる歴史や文学などを詳しく周知した。次のように37団体、計869人が利用した。

月 日	団 体 名	利用者数
4月7日(金)	全日本年金者組はいわき支部	22人
4月26日(水)	いわき市立小名浜第三小学校	66人
5月2日(火)	いわき市立勿来第二小学校	84人
	福島県立いわき支援学校くぼた校	20人
6月2日(金)	増田工業	9人
6月11日(日)	国分寺市管工事組合	13人
6月14日(水)	きららクラブ	11人
6月17日(土)	茨城大学	68人
6月22日(木)	新地町郷土史研究会	15人
7月6日(木)	道新観光	29人
7月11日(火)	荒川区高齢者クラブ	68人
7月14日(金)	大倉保育園	25人
7月24日(月)	宮園てくてく会	34人
8月19日(土)	福島県いわき地方振興局	13人
10月4日(水)	石井造園	10人
10月5日(木)	舘野建設	2人

月 日	団 体 名	利用者数
10月23日(月)	桐生長野県人会	20人
	中央ろうきん友の会	34人
10月24日(火)	中原伸生会	20人
10月26日(木)	上山郷土史研究会	11人
10月26日(木)	東西民生委員児童委員協議会	21人
10月29日(日)	五区自治会	9人
	足利歯科医師会	4人
10月30日(月)	いきいきわかば会	20人
11月7日(火)	南町二丁目長寿会	20人
11月29日(水)	相生喜楽会	24人
11月30日(木)	木崎地区まちづくり委員会	26人
	小山地区交通安全協会大谷支部	10人
12月3日(日)	川島支部自治委員会	18人
1月22日(月)	坂東市地域女性連絡会	24人
2月4日(日)	ツーリストサポート	15人
2月16日(金)	相模原町田旅行会	14人
	ワークセンターしおさい	11人
	郡山女子大学短期大学部	30人
2月19日(月)	住みよい堅倉地区をつくる会	11人
2月25日(日)	押館親睦会	18人
3月4日(月)	大内地区民生委員	20人

オ 連携事業

(ア) 指定管理施設との連携

当財団指定管理施設と連携し、3事業を行った。詳細は3-(4)-イのとおり。

(イ) 地域との連携 () 内は主催団体

a	「第2回なこそ海と森ウォーク」(なこそ海と森ウォーク実行委員会)
11月19日(日)	勿来の関公園などを巡るウォーキング大会の休憩場所として、当館休憩スペースを提供した。
b	第14回「勿来八景」フォトコンテスト(後援)(いわき市南部地区中心市街地活性化協議会)
	当館館長が審査員を務め、入選作品展の会場として、市民ギャラリーを提供した。
c	第37回勿来の関歌会(協力)(勿来ひと・まち未来会議)
	当館館長が審査員を務め、入選作品展の会場として、令和6年度に市民ギャラリーを提供することを予定している。

カ レファレンス対応

(ア) 資料貸出・返却 1件

貸出月日	返却月日	貸 出 先	内 容
12月13日(水)	画像データ提供	アリスねっと	パネル展「星新一の系譜2」(12月14日(木)~同20日(水)、さいたま市市民活動サポートセンター)開催にあたり、星製薬株式会社関連資料を提供した。

(イ) 問い合わせ対応 14件

キ 調査研究事業

期 間	内 容
4月	前年度12月から継続して、大國魂神社(平菅波)所有の山名菅村関連資料の整理と調査を行った。以上の成果については、第1回企画展「山名菅村」に活用した。
4月~8月	いわき市内に残るいわき市出身の詩人・草野心平の書を刻んだ詩歌碑について調査した。以上の成果については、テーマ展1「草野心平書の詩歌碑」に活用した。

期 間	内 容
7月～10月	福島県域関連刀剣の調査として、主にいわき市石炭化石館が所蔵する刀剣を調査した。以上の成果については、第2回企画展「刀・刀・刀2」に活用した。
12月～1月	近世の勿来関に関する史料について、主に明治大学博物館蔵「内藤家文書」を調査した。以上の成果については、テーマ展2「勿来関と歌枕」に活用した。
5月～3月	風船爆弾に関する調査として、市内在住の方に戦時中の体験について聞き取り調査を行うとともに、明治大学平和教育登戸研究所への視察や風船爆弾に関する資料を収蔵している北茨城市歴史民俗資料館・野口雨情記念館での調査を行った。以上の成果については、令和6年度第1回企画展「語り伝えたい記憶」に活用することを予定している。

ク 博物館実習の受け入れ

事業の運営補助や収蔵資料の整理、SNSの発信などを行った。

期間 8月1日(火)～同5日(土) 1人(淑徳大学)

ケ 事業懇談会

日 時	出席委員数	議 題
第1回事業懇談会 7月10日(月)10時～11時	6人	令和4年度事業報告について 令和5年度経過報告について その他
第2回事業懇談会 2月26日(月)10時～11時	6人	令和5年度経過報告について 令和6年度事業計画(案)について その他

(4) いわき市アンモナイトセンター

いわき市大久町大久字鶴房147番地の2 平成4年11月19日開館
委託者及び指定管理期間 いわき市 平成31年4月1日～令和6年3月31日

令和5年度の利用者数は、前年度と比べて733人多い15,510人であり（前年度比105.0%）、平成23年の東日本大震災以降で最多の利用者数となった。但し冬期（12月～2月）の利用者が夏季に比べ少ない状況が続いており、オフシーズンにおける魅力の発信が課題である。

ア 企画展

小・中学校の長期休暇に合わせて、企画展を2回実施した。両企画展ともに会期中のミニ発掘や化石クイズを目的に来館する利用者が見受けられ、体験発掘非実施日の利用者数増に貢献した。

(ア) 夏休み企画展「最新！いわきの古生物」	
7月8日(出)～8月31日(水) 3,041人	いわき市には古生代から新生代まで長期間に亘る地層が分布し、これらの地層からは多くの化石が産出することが知られてきた。本企画展では、近年の研究により発見、認識された古生代から新生代の化石を展示し、最新の知見によるいわきの古生物相を解説した。
関連事業	
a ミニ体験発掘コーナー（三葉虫）	会期中の平日に実施 計88人
b 化石クイズ	会期中に実施 企画展に関連したクイズを出題し、全問正解者には外国産化石（サメの歯）をプレゼントした。
(イ) 冬休み企画展「アンモナイトセンター今年の化石」	
12月16日(出)～1月10日(水) 971人	当館には後期白亜紀コニアシアン地層が露出しており、毎土・日曜日には化石の体験発掘を実施している。体験発掘中には古生物学的に重要な標本が産出することもある。本展では、今年度に体験発掘で産出した重要標本を展示・紹介し、古生物学的視点から解説した。
関連事業	
a ミニ体験発掘コーナー（水晶ジオード）	会期中の平日に実施 計97人
b 化石クイズ	会期中に実施 企画展に関連したクイズを出題し、全問正解者には外国産化石（サメの歯）をプレゼントした。

イ 体験学習

一般体験発掘及び特別体験発掘を合計した体験発掘参加者数は、前年度の10,751人と同程度の10,821人（前年度比100.7%）となっている。体験発掘参加者の居住地別割合をみると、例年通り県外からの利用者の割合が多くなっている。

小・中学校を中心とした特別体験発掘に関しては参加団体数延べ37団体（前年度比100.0%）、参加人数1,236人（前年度比98.4%）と個人向けの一般体験発掘と同様に前年度と同程度であった。利用団体の内訳を見ると、市内小・中学校が11校のほか市内の幼稚園及び公共団体が5団体と市内からの利用は全体の4割強（43.2%）となり、前年度よりも団体数、割合とも高くなっている。また、高等学校や大学などの後期中等教育から高等教育機関の利用や、産業技術総合研究所地質調査総合センターの社会人研修での利用など研究機関の利用が見られる。しかし、一般体験発掘での参加や任意団体での利用はあるものの、東日本大震災前には一定数あった関東圏からの小・中学校からの利用はなかった。

福島第一原発事故による風評被害により利用しなくなってしまった関東圏の小・中学校等の団体での利用促進を積極的に推し進めることが今後の課題として考えられる。

親子自然探訪教室では、地質学や古生物学に限定しない自然科学分野の多様なテーマを設定し、野外での体験を軸としたアクティブラーニングプログラムを提供した。前年度に引き続き祝日となる月曜日を主体として全6回を開設した。参加者数は開催テーマや、同じテーマであっても年度によるばらつきが有り、参加者数増減の要因の分析や開催内容の検討・改編に努める必要がある。

(ア) 一般体験発掘

日 時	回数、参加者数
4月1日(出)～3月31日(日)の毎土・日曜日、 8月11日(金)祝、2月12日(月)休 いずれも10時～11時30分・13時30分～15時 4月29日(出)、5月3日(水)祝～同5日(金)祝は 1日3回実施	計197回実施、計9,585人

(イ) 特別体験発掘

次のように37団体、計1,236人が参加した。

月 日	団 体 名	参加者数
4月21日(金)	いわき市立平第五小学校	113人
4月28日(金)	いわき市立草野小学校	61人
5月17日(水)	志向学園かなや幼稚園	34人
5月19日(金)	国立研究開発法人産業技術総合研究所地質調査総合センター	8人
6月1日(木)	いわき市立久之浜第二小学校	17人
6月2日(金)	国立研究開発法人産業技術総合研究所地質調査総合センター	10人
	須賀川市立大東小学校	62人
6月23日(金)	田村市立都路中学校	8人
7月13日(木)	東日本国際大学附属昌平中学校	29人
7月14日(金)	三春町立御木沢小学校	40人
7月22日(土)	こどもサークル内郷	14人
7月29日(土)	福島県いわき地方振興局	13人
8月1日(火)	檜葉町教育委員会	40人
8月4日(金)	カワイ体育教室	27人
	Vamos福島ホワイトリバーフットボールクラブ	20人
8月9日(水)	埼玉県立伊奈学園総合高等学校	24人
	いわき市立内郷公民館	46人
8月13日(日)	小川理科研究所	15人
8月29日(火)	日本獣医生命科学大学	19人
9月8日(金)	南光学園東北高等学校	15人
9月12日(火)	いわき市立田人中学校	10人
9月20日(水)	いわき市立平第一中学校	33人
9月22日(金)	南相馬市立原町第二小学校	69人
9月26日(火)	いわき市立長倉小学校	28人
10月3日(火)	福島県立福島高等学校	42人
10月6日(金)	いわき市立植田小学校	93人
10月17日(火)	いわき市立中央台南中学校	21人
10月24日(火)	朝陽小学校野外活動研究会	6人
10月26日(木)	いわき市立勿来第二小学校	23人
10月28日(土)	逆川こどもエコクラブ	46人
11月2日(木)	いわき市立好間第一小学校	54人
11月26日(日)	いわき市モニターツアー	13人
12月14日(木)	中島村立滑津小学校	32人
12月24日(日)	Vamos福島ホワイトリバーフットボールクラブ	26人
12月26日(火)	いわき市立四倉公民館	88人
1月11日(木)	広野町立広野中学校	29人
	仙台ECO動物海洋専門学校	8人

(ウ) 親子自然探訪教室

第3回「秋の星座を見つけよう！」は、参加申込がなかったため中止となった。次のように年間

実施予定6回中5回実施、計102人が参加した。

月 日	内 容	参加者数
7月17日(月)祝	第1回「昆虫採集に出かけよう！」	40人
9月18日(月)祝	第2回「不思議なキノコを探しにいこう！」	13人
9月23日(土)祝	第3回「秋の星座を見つけよう！」	中止
11月3日(金)祝	第4回「陶芸に挑戦しよう！」	20人
1月8日(月)祝	第5回「冬の野鳥を見にいこう！」	12人
3月17日(日)	第6回「コハクを発掘しにいこう！」	17人

ウ 化石講演会

月 日	内 容	聴講者数
12月18日(月)	いわき市立久之浜中学校を会場に、吉田純輝氏(福島県立博物館学芸員)を講師に迎え、演題「恐竜は鳴く?～なぞの骨の正体を探る～」について講演した。	59人

エ 出前講座

要請を受け、いわきの恐竜時代についての講演や、化石の体験発掘等の体験事業を実施した。6回、計152人が参加した。詳細は3-(4)-アのとおり。

オ 連携事業

(ア) 指定管理施設との連携

当財団管理施設と連携し、3事業を実施した。詳細は3-(4)-イのとおり。

(イ) 地域との連携

太古の昔、いわきは海の底だった 化石発掘体験 (主催 スパリゾートハワイアンズ)
7月22日(土)～8月27日(日)10時～17時 計2,241人 (参考) スパリゾートハワイアンズ内スプリングパークプラザで行った化石発掘体験の材料として、当館の体験発掘露頭から産出した岩石を提供した。

(ウ) 教育機関との連携

次のように2件、計36人が職場体験活動に参加した。

月 日	学 校 名	参加者数
9月14日(木)	いわき市立久之浜中学校	3人
11月17日(金)	学校法人志向学園かなや幼稚園	33人

カ レファレンス対応

資料貸出・返却 5件

貸出月日	返却月日	貸 出 先	内 容
4月1日(土)	3月31日(日)	筑波大学	体験発掘露頭から産出した古脊椎動物化石標本を、研究のため貸与した。
4月1日(土)	3月27日(水)	公益財団法人深田地質研究所	体験発掘露頭から産出したイノセラムス化石を、研究のため貸与した。
6月21日(水)	10月13日(金)	いわき市立草野心平記念文学館	体験発掘露頭から産出したアンモナイト等の化石を、いわき市立草野心平記念文学館で展示するため貸与した。
8月10日(木)	3月27日(水)	公益財団法人深田地質研究所	体験発掘露頭から産出したアンモナイト化石を、研究のため貸与した。
1月5日(金)	2月27日(火)	福島県立博物館	体験発掘露頭から産出したアンモナイト化石を、研究のため貸与した。

キ 調査研究事業

期 間	内 容
4月～3月	令和4年度から引き続き筑波大学との共同研究として、アンモナイトセンター敷地内の双葉層群足沢層から産出した脊椎動物化石について研究を行った。研究成果については、8月3日(木)から同7日(月)にかけて東京大学で開催された第2回アジア古生物学会議及び1月26日(金)～同28日(日)に東北大学で開催された日本古生物学会第173回例会において発表した。
4月～3月	令和4年度から引き続き公益財団法人深田地質研究所、福島県立博物館、三笠市立博物館、茨城大学、いわき自然史研究会との共同研究として、アンモナイトセンターの体験発掘露頭から産出したアンモナイト類化石の研究を行った。
5月	南相馬市鹿島区に分布する石炭系立石層の石灰岩について、筑波大学及び福島県立博物館と共同で現地にて地質調査を行った。
8月	茨城大学、名古屋大学博物館、公益財団法人深田地質研究所と共同で行った「アンモナイトセンター内化石包蔵地」に関する地質学的・地球化学的研究についての結果を、8月3日(木)から同7日(月)にかけて東京大学で開催された第2回アジア古生物学会議において発表した。
8月～3月	アンモナイトセンター敷地内の体験発掘露頭から産出したアンモナイト化石について、福島県立博物館、公益財団法人深田地質研究所と共同研究を行った。研究成果については、3月に刊行された福島県立博物館研究紀要第38号に掲載された。

ク 刊行物

月刊アンモナイト通信 第5巻4号～12号、第6巻1号～3号 毎月1号刊行

ケ 資料整理事業

いわき市所有の化石標本等について、登録作業を行った。(I-423432)

コ 運営委員会

日 時	委員数	議 題
第1回運営委員会 6月16日(金)10時～11時	8人	令和4年度事業について 令和5年度第1四半期(4・5月期)の事業について 令和5年度第2四半期以降の事業計画について
第2回運営委員会 2月16日(金)10時～11時30分	7人	令和5年度6月～1月期事業について 令和5年度2月～3月期の事業計画について 令和6年度事業計画について

(5) いわき市考古資料館

いわき市常磐藤原町手這50番地の1 平成9年12月1日開館
委託者及び指定管理期間 いわき市 平成31年4月1日～令和6年3月31日

令和5年度の利用者は5,022人で前年度比881人、15%減少した。内訳は、入館者が4,497人で前年度比749人減、出前講座などの館外利用者が14件525人で、前年度比10件、132人減となった。また、団体入館者は28件914人で、前年度比3件減、129人増となった。

主な事業は、企画展、講座・講演会、体験学習会で、いわき市内の遺跡とその発掘調査の成果をもとに地域の歴史と魅力を紹介した。いずれも5年間の指定管理期間最終年度として、当初の計画に沿った主題に沿いながらも施設の特性を生かした事業を弾力的に企画、実施した。

また、小学校の校外学習等をはじめ児童、生徒の団体利用に際しては、わかりやすい展示解説はもとより、希望によりまが玉づくりや土器・土偶・埴輪づくりなどの体験学習を実施し、歴史への関心、理解を深める機会とした。

利用者からは「昔の人の生活が現在に続いていることに感動しました」「常設展が充実していて見応えがあった。企画展もおもしろい」という感想が寄せられた一方、出土品の年代や解説文の充実を求める意見もあったことから、引き続き丁寧な展示と解説に努めたい。

ア 企画展

「令和4年度発掘速報展」「いわきの古代を探る 古代の文字－墨書と線刻－」「いわきの古代を探る 古代陸奥国磐城郡－根岸官衙遺跡群とその時代－」の3企画展を開催した。前年度の発掘調査等の報告、そして指定管理5年目の時代区分として古代を主題とした企画展を実施した。

「発掘速報展」では、市内の発掘調査の最新の成果を遺跡毎に紹介した。内容としてはJRいわき駅周辺の再開発に伴う平城跡の発掘調査の成果が中心となり、利用者からも「旧城跡に住んでいるので、発掘報告のところがとても興味深かったです。たいへん勉強になりました」「平城に興味があり、再開発にちなんで、発掘されたものがみられ、よかったです」という感想が寄せられ、市民の関心の高さが窺えた。

企画展「古代の文字－墨書と刻書－」「古代陸奥国磐城郡－根岸官衙遺跡群とその時代－」では、古代の文字資料や根岸官衙遺跡群と周辺遺跡の成果を通して、当時のいわき地方の社会や人々の生活の様子を紹介した。「文献と発掘のつき合い、また発掘範囲の広さから一郡の仕組が良くわかる良い展示だった」「古代陸奥国の様子を知るいい機会です」「根岸遺跡他多くの遺跡があることがわかった」「今日はこれから根岸に行ってみようと思います」という感想が寄せられ、あらためて「いわき」のはじまりの時代を紹介する機会になった。

ア) 第1回企画展「令和4年度発掘速報展」	
4月22日(土)～7月2日(日) 1,207人 いわき市内には1,400箇所以上の埋蔵文化財包蔵地(遺跡)があり、同地内の開発に伴い、遺跡の試掘・確認調査や記録保存のための発掘調査を実施している。令和4年度は、試掘・確認調査17件、発掘調査3件を実施し、発掘調査の成果をまとめた報告書1冊を刊行した。本展では、これら令和4年度の試掘・確認、発掘調査、報告書を刊行した遺跡の出土品を展覧し、市民をはじめ郷土の歴史について理解を深めるきっかけとした。	
関連事業	
a	遺跡報告会 5月14日(日)13時30分～15時 11人 解説 当財団事務局調査係職員
b	展示解説会 5月14日(日)15時～16時、6月18日(日)14時～15時 計21人
イ) 第2回企画展「いわきの古代を探る 古代の文字－墨書と線刻－」	
7月22日(土)～11月19日(日) 1,674人 令和元年から、中世、弥生、古墳、縄文とそれぞれの時代を主題に企画展を展開し、今年度は、いわきの「古代」をテーマとした。根岸遺跡(現いわき市平下大越地内)や夏井廃寺跡(同地内)をはじめ、市内の古代の遺跡からは、文字が記された土器、瓦、木簡などが出土し、遺物の調査だけではかなわない様々な時代考察が可能になる。本展では、古代の遺物に記された情報を通して、当時のいわき地方の社会や人々の生活の様子を紹介した。	
関連事業	
a	展示解説会 8月5日(土)、10月29日(日)いずれも14時～15時 計15人
b	講演会「文字史料からみた古代のいわきと多賀城」 9月9日(土)14時～15時30分 16人 講師 吉野 武氏(宮城県多賀城跡調査研究所)

<p>(ウ) 第3回企画展「いわきの古代を探る 古代陸奥国磐城郡—根岸官衙遺跡群とその時代—」</p> <p>12月9日(土)～3月31日(日) 1,063人 古代の陸奥国磐城郡の郡役所跡、根岸官衙遺跡群の調査成果を中心に、当時のいわき地方の成り立ちを探り、時代背景とともに紹介した。</p> <p>関連事業 a 展示解説会 12月16日(土)、3月17日(日)いずれも14時～15時 計17人 解説 当館館長、研究員 b 講演会「役所の違いからみた古代東北」 2月12日(月)14時～15時30分 53人 講師 村田晃一氏(宮城県多賀城跡調査研究所)</p>
--

イ 体験学習会

毎月土、日曜日や大型連休、夏・冬の長期休暇等にあわせて、体験学習会を実施した。いわき市内から出土した遺物にふれて学ぶ機会を提供し、主に親子連れの参加者が考古学に親しむ機会とした。考古資料館まつりは、古代の装飾品、道具をつくる体験や、火おこし等の古代の生活体験をおして、古代の生活にふれながら家族で考古学に親しみ、関心を深める機会とした。当日は敷地内にキッチンカーが出店し、終日参加者の食事の機会を提供するとともに、当館利用者にとどまらない賑わいの創出を図った。

「ハニワ作りは2回目でしたが、今回は気に入ったものが出来たようで、良かったです。前回は知らなかった作り方が分かりました」「すごく難しかったけど、できて達成感があってうれしかった」「大人ですが、童心にかえて楽しかったです」「初めてのまが玉作り、想像以上に楽しくて家族4人で夢中で取り組みました！また利用したいです！こまめに声をかけてくださり、ありがとうございました」といった感想が寄せられた一方で「身近にこんな施設があることを知りませんでした、来てみたら楽しかったです」という意見もみられ、より効果的な事業の広報、周知を図りたい。

<p>(ア) まが玉づくり、土器・土偶・はにわづくり</p> <p>4月1日(土)～3月17日(日) 毎月土、日に開催 いずれも10時～11時30分 計28回実施 ※4月30日(日)、8月20日(日)、10月15日(日)、12月17日(日)は10時～11時30分、14時～15時30分の2回実施 計215人(まが玉づくり98人、土器・土偶・はにわづくり117人) まが玉づくりまたは土器・土偶・はにわづくりのいずれかを選択してもらい、実施した。定員5人(※印の日は各回30人)。</p>
<p>(イ) 考古資料館まつり</p> <p>5月3日(水)祝、7月30日(日)、11月12日(日)いずれも10時～11時30分、14時～15時30分 計448人 まが玉づくり、土器・土偶・はにわづくり、火おこし、弓矢の体験学習会、キッチンカーの出店等を実施した。</p>

ウ 講座・講演会

いわき市生涯学習プラザ「ふるさと再発見講座」との連携事業として「いわきの考古学講座」を実施したほか、ボランティア活動の活発化を図るための「考古資料館講座」などを実施した。様々な主題、視点から遺跡、史跡について講演、解説し、地域の歴史についての理解を深める機会とした。

<p>(ア) 自由研究教室「縄文土器を調べよう」</p> <p>7月29日(土)10時～11時30分 8人 小学生を対象に、縄文土器のかたちやつくり方と道具を解説した。その後、いわき市内から出土した土器を鑑賞、参考にしながら、試行錯誤して縄文土器をつくった。終了時、参加者には終了証を渡し、当館の縄文博士に認定した。</p>
<p>(イ) 考古資料館講座「考古資料館で考古学を学ぶ」</p> <p>9月24日(日)、10月29日(日)いずれも10時～11時30分 計17人 考古学とは、発掘とは、出土品とは、といった基礎的な視点で解説した後、展示室内で資料を解説した。考古学や文化財への関心、理解を深めるとともに、その魅力を伝えている当館ボランティアの活動も紹介し、参加を呼びかけた。</p>
<p>(ウ) 考古資料館寄席</p> <p>11月12日(日)14時～15時40分 45人 山椒家小粒氏、武相亭八木助氏が「文字」にちなんだ落語を上演したほか、調査係研究員が発掘調査の経験談などを紹介し、笑いを交えながら考古学に親しむきっかけとした。</p>
<p>(エ) いわきの考古学講座 全5回 (連携 生涯学習プラザ)</p> <p>11月26日(日)～3月17日(日)13時30分～15時 計196人 生涯学習プラザと連携事業。詳細は3-(4)-イのとおり。</p>

エ 団体入館

学校・公民館・支所・各種団体への展示解説及びまが玉づくりなどの体験指導を実施した。市内の発掘調査で見つかった土器・石器などを実見し触れるなかで、様々なものづくりを体験しながらいわきの歴史の一端を伝えた。次のように28団体、計914人が利用した。

月 日	団 体 名	参加者数
4月21日(金)	いわき市立藤原小学校	48人
4月26日(水)	いわき市立小名浜第三小学校	67人
	いわき市立高坂小学校	58人
4月27日(木)	いわき市立磐崎小学校	82人
	いわき市立綴小学校	17人
4月28日(金)	いわき市立小名浜東小学校	66人
5月1日(月)	いわき市立中央台南小学校	24人
5月23日(火)	二本松市立二本松第三中学校	85人
6月29日(木)	いわき市立湯本第三小学校	35人
7月4日(火)	比企郡とぎかわ部会	69人
7月12日(水)	いわき市立平第一小学校	79人
7月28日(金)	すずかけ学童クラブ	66人
8月18日(金)	(一社) 一心会放課後等デイサービスプラムだいすき	17人
8月22日(火)	学べるコムネット放課後等デイサービスらいむ	11人
8月24日(木)	本宮市立和田小学校	26人
9月7日(木)	絵手紙教室	6人
9月12日(火)	いわき市立藤間中学校	4人
9月15日(金)	茨城県教育民生常任委員会	7人
9月20日(水)	いわき市立中央台北小学校	35人
9月22日(金)	民家園のつどい	16人
9月26日(火)	長岡年金協会	23人
9月28日(木)	みちのくイノベーションキャンプ個別フィールドワーク	5人
10月5日(木)	羽生市立村君小学校	15人
11月7日(火)	いわき市立川部小学校	17人
11月30日(木)	東日本国際大学	9人
12月28日(木)	学べるコムネット放課後等デイサービスらいむ	9人
1月21日(日)	東日本国際大学	10人
3月29日(金)	子どもサークル平窪	8人

オ 出前講座

学校や公民館等から要請を受け、まが玉づくりなどの体験学習指導や、地域の歴史について講義した。また、当館の魅力や利用法を紹介し、利用促進を図った。5団体、195人が受講した。詳細は3-(4)-アのとおり。

カ 連携事業

(ア) 指定管理施設との連携

当財団管理施設と連携し、土偶やまが玉をつくる体験学習会や、考古学講座を実施した。当館の事業について周知を図る機会とし、利用促進を図った。2事業、計65人が参加した。詳細は3-(4)-イのとおり。

(イ) 教育機関との連携

次のように2件、計6人が職場体験活動に参加した。

月 日	学 校 名	参加者数
9月20日(水)	いわき市立平第一中学校	5人
10月11日(水)	いわき市立内郷第一中学校	1人

キ ボランティア

小学校の校外学習等の体験学習をはじめ、考古資料館まつりでの体験学習会の運営に考古資料館のボランティアが協力している。豊富な経験と臨機な対応により円滑な事業の実施につながっている。また、市を通して市内の中学生、高校生による青少年ボランティアに依頼、協力を得た。

今年度からは、ボランティアの募集、研鑽・研修を兼ねた「考古資料館講座」を開講し、資料館の展示資料への理解を深めるなど市民が考古学への理解を深める機会とした。

(ア) 考古資料館ボランティア 登録者19人 活動実績 計18回

(イ) 青少年ボランティア 活動実績 2回 延べ32人

ク 博物館実習の受け入れ

資料の収集、保管、展示、調査研究、教育普及などの博物館業務を体験、理解する機会を提供し、学芸員として必要とされる知識・技術などの基礎・基本を修得する実習を実施した。当館の特性にちなみ、出土遺物の水洗、整理等の実習も実施した。

期間 8月17日(木)～同23日(水) [9月1日(金)、2日(土)] 実習生 郡山女子大学短期大学部 2人

ケ レファレンス対応

いわき市内の遺跡から出土した資料の閲覧、貸出について、所管課と協議して対応したほか、いわきに関連する史実、資料等についての問い合わせに対応し、参考資料を紹介した。

(ア) 資料調査 4件

月 日	依 頼 者	内 容
7月21日(金)	中央大学考古学研究室 小林謙一氏	科学研究費補助金(2022-2026年度)基盤研究A「高精度年代体系による東アジア新石器文化過程-地域文化の成立と相互関係-」(代表小林謙一)の研究目的で、AMS炭素14年代測定・IRMS同位体比測定を行うため
10月25日(水)	島根大学法文学部考古学研究室 岩本 崇氏	科研費基盤研究B『器物の「伝世・長期保存」・「復古再生」の実証的研究と倭における王権の形成・維持』の一環
10月11日(水)	福島県文化財保護審議会 委員 荒木志伸氏 福島県教育庁文化財課 文化財主査 山本友紀氏	県指定文化財候補の審議委員調査のため
12月4日(月)	明治大学文学部史学地理学科 考古学専攻 鈴木 響氏	大学卒業論文執筆のための資料見学

(イ) 資料貸出・返却 9件

貸出月日	返却月日	貸 出 先	内 容
6月27日(火)	9月6日(水)	大安場史跡公園	菅俣B遺跡5号住居出土石製模造品一式 大安場史跡公園 令和5年度 第1回企画展で展示、解説パネル及び解説パンフレットに掲載するため
7月17日(月)	画像データ提供	いわき市暮らしの伝承郷	根岸遺跡 原色図版1(1) データ1点 荒田目条里遺跡 原色図版第4 ポジフィルム1点 企画展「愛谷江筋と流域の歴史」に使用するため

貸出月日	返却月日	貸出先	内容
7月19日(水)	画像データ提供	岡安 雅彦氏	折返A遺跡出土土器6点・龍門寺遺跡出土土器1点・桜町遺跡出土土器1点・菅俣遺跡出土土器1点 申請者撮影の写真 自費出版する書籍へ掲載するため
8月2日(水)	画像データ提供	藪内 健史氏	中田横穴 内部の三角文が写っているカラー写真1点 二見書房発刊「古墳図鑑(仮)」に掲載のため
9月27日(水)	画像データ提供	小林 嵩氏	砂畑遺跡出土環状石器 写真1点 論文に写真を掲載するため
11月13日(月)	画像データ提供	(公財)千葉県教育振興財団	荒田目条里遺跡 (1) 338頁 第247図 10号木簡 表・裏写真各1点 (2) 図版120 10号木簡 表 写真1点 千葉県埋蔵文化財センター特別展「幸福を祈るー古代人の願いと造形ー」におけるパンフレットならびに写真パネルに使用するため
2月4日(月)	画像データ提供	株式会社あお	大堀A遺跡 JPEG データ5点 「ポツンと一軒家」テレビ放映、見逃し配信に使用するため
2月14日(水)	3月15日(金)	(公財)千葉県教育振興財団	番匠地遺跡 銅印印面部鋳型「常」1点 令和5年度千葉県埋蔵文化財調査センター特別展「幸福を祈るー古代人の願いと造形ー」での資料展示のため
3月11日(月)	画像データ提供	柳津町教育委員会	横山B遺跡第178号土坑出土縄文土器 JPEG データ18点 企画展「池ノ尻遺跡出土品特別展」に使用するため

(ウ) 問い合わせ対応 22件

コ 事業懇談会

日時	出席委員数	議題
第1回事業懇談会 10月21日(土)10時～11時	8人	令和4年度事業報告について 令和5年度経過報告について その他事項
第2回事業懇談会 3月30日(土)10時～11時	7人	令和5年度事業経過報告について 令和6年度事業計画について その他事項

(6) 福島県いわき海浜自然の家

いわき市久之浜町田之網字向山53 平成8年7月20日開所
委託者及び指定管理期間 福島県 平成31年4月1日～令和6年3月31日

令和5年度の利用状況は、513団体、延べ利用者数36,402人で、前年度（438団体・27,404人）との比較では、団体数で117.1%、延べ利用者数では132.8%となった。

今年度は、新型コロナの影響が低下したことより、新型コロナ流行前の令和元年と比較しても、団体数で108.0%と上回り、延べ利用者数でも93.8%まで回復している。年度当初に懸念されていたALPS処理水の海洋放出による体験活動への影響は、学校教育団体・社会教育団体ともほぼ認められなかった。

学校教育団体については、利用団体数が252団体、延べ利用人数は20,754人であった。11月下旬まで続いた小学校の宿泊体験活動では、引率者アンケートによるとボディボードや磯遊びなどの、海浜活動のプログラムに対する満足度が特に高かった。また、小学校の利用が減少する10月以降、幼稚園（保育所を含む）の利用団体数・人数が前年度同様に増加している。

社会教育団体については、利用団体数が214団体、延べ利用人数は9,627人であった。公民館や地域の民間団体をはじめ、合唱・吹奏楽など部活動の合宿による練習や、スポーツ少年団やクラブチームなどスポーツ団体等の利用に回復傾向が見られる。また、児童発達支援・放課後等デイサービスを提供している民間団体が、当所のプログラムを子どもたちに体験させるため、土曜日・日曜日を中心に定期的に利用しているのが、最近の顕著な傾向として挙げられる。更に、前年度から力を入れているファミリー層など少人数団体の利用についても、利用者数や問い合わせ等が増えてきている状況にある。

施設管理に関しては、引き続き当所の「庁舎管理規程」「危機管理マニュアル」等に基づき、利用者が安全に、安心して利用できるよう努めた。

ア 施設利用状況

期 間	利用者数
4月1日(土)～3月31日(日)	513団体 延べ利用者数36,402人 (学校教育団体252団体 社会教育団体214団体 企画事業・その他47団体)

イ 主催事業

主催事業は、新型コロナの影響が低下したことにより、「春・秋のオープンデー」「スポーツフェスティバル」「クラフトのつどい」は、参加人数の制限を設けずに実施した。「遊ぼう！初夏の海で」については、前日に発生した地震の影響により日程を変更して実施した。冬の会津地方でスキーを楽しむ「冬を楽しもう！スキー教室」については、新型コロナの流行により開催を見合わせていたが、4年ぶりに実施した。

その他の事業についても、申し込みにあたっては事業内容に応じ、インターネットなど多様な方法を取り入れるなど利用者の利便性に配慮した。

(ア) 春のオープンデー（第1回未来キッズ生き生き事業）
5月28日(日)10時～15時 1,515人 施設を県民へ広く開放し、様々な体験活動をとおして、当所への理解を深めるとともに、ボランティアスタッフや地域団体とのふれあいにより、子どもたちの豊かな人間性や生きる力の育成を図った。
(イ) 遊ぼう！初夏の海で
7月16日(日)9時30分～14時 34人（11家族） 当初5月20日(土)に予定していたが、南太平洋で発生した地震の影響により、日程変更となった。初夏の舟戸海岸で、釣りや磯遊びを楽しみながら、親子のふれあいを深めた。
(ウ) ふれあいサマーキャンプ
7月29日(土)～同30日(日) 32人 県内の小学校4～6年生を対象として、いかだ乗りやボディボード、キャンプファイア等を行い、自然体験活動をとおして自然や人とふれあう喜びを体得するとともに、協調性・社会性や自立心を養った。
(エ) スポーツフェスティバル（第4回未来キッズ生き生き事業）
10月8日(日)10時～14時30分 875人 子どもから大人まで一緒にニュースポーツなどを楽しみながら健康への意識向上を図った。特に、いわきラグビースクールを講師に招いたラグビー体験教室は好評であった。

(イ) 秋のオープンデー (第5回未来キッズ生き生き事業)
10月29日(日)10時～15時 1,348人 施設を県民へ広く開放し、様々な体験活動をとおして当所への理解を深めるとともに、ボランティアスタッフや地域団体とのふれあいにより、子どもたちの豊かな人間性や生きる力の育成を図った。また、郡山自然の家や当財団指定管理施設(草野心平記念文学館・アンモナイトセンター・考古資料館)と連携し、様々なプログラムを提供した。食事に関しては、初めて市内のキッチンカーに出店いただき、多彩なメニューを提供したことで、好評を博した。詳細は3-(4)-イのとおり。
(ロ) ふれあいオータムキャンプ
11月11日(出)～12日(日) 24人 県内の小学校4～6年生を対象として、交流ゲーム、野外炊飯、キャンプファイア、背戸峨廊ハイキング等を行い、自然体験活動をとおして自然や人とふれあう喜びを体得するとともに、協調性・社会性や自立心を養った。
(ハ) 親子のつどい
12月10日(日)10時～14時30分 88人(26家族) 小学生とその家族を対象として開催した。参加者はクリスマスガーランド作り・しめ縄作りの創作活動や火起こし体験、焼きマシュマロ作りを行い、親子で季節にふさわしい活動、共同作業をとおして家族の親睦を深めることができた。
(ニ) 冬を楽しもう!スキー教室
1月21日(日)10時～14時30分 33人(11家族) コロナ禍により令和2年度から開催を見合わせていたが、4年振りに裏磐梯スキー場を会場として開催した。会津地区でのスキー教室をとおして、普段、雪に親しむことの少ない浜通り地方の子どもたちが、福島県の風土の豊かさを感じるとともに、自然体験活動の楽しさを知ることができた。
(ホ) クラフトのつどい
2月4日(日)10時～14時30分 204人 一部の企画を除き、事前予約不要のオープン参加制で開催した。参加者はコースター、表札、草花の万華鏡、草木染めエコバッグ作りなどの様々なクラフト体験を楽しみ、多くの方々に自然の家についての理解を深めてもらうきっかけとなった。
(ヘ) ミニ開放デー「自然の家であそんじゃお!」
2月25日(日)10時～14時 129人 自然の家の体育館とトリムランドを開放し、子どもたちの遊びの場を提供した。アスレチック遊具やニュースポーツ、オリエンテーリングをとおして身体を動かす機会を設け、あわせて自然の家の理解と利用促進を図った。
(ト) 森の音楽会
3月10日(日)13時30分～15時 167人 豊かな自然環境にあるいわき海浜自然の家で、いわき市出身の音楽家である菊池章夫氏の演奏を楽しんでいただき、当所の魅力の発信と周知を図った。
(チ) 早春の里山散歩
3月22日(金)10時～13時 20人 中高年を主な対象に、早春のいわき海浜自然の家の自然(冒険の森3コース)を楽しんでいただき、当所の魅力の発信と周知を図った。

ウ 研修企画事業

(ア) 学校団体指導者事前研修会
4月13日(木)、同20日(木)、同27日(木)、7月25日(火)いずれも9時30分～16時 延べ184校 令和5年度に宿泊活動で当所を利用する学校教育団体の指導者向けに、活動計画の立案や活動方法についての事前研修会と団体間の活動プログラム内容の調整を行った。開催にあたっては、4年ぶりに集合・対面形式で実施した。
(イ) ボランティア養成講座
5月7日(日)、7月9日(日)、9月24日(日)、12月17日(日)いずれも9時30分～14時30分 計56人 海浜自然の家における自然体験活動を支援するために必要な知識と技能を習得するとともに、ボランティアスタッフとしての資質向上を図った。また、受講後は各企画事業で活動していただいた。

ウ) 活動プログラム研修会

5月12日(金)9時15分～14時30分 21人(15団体)
令和5年度に当所を利用する社会教育団体を対象に、施設見学・プログラムの実技研修等とお
して、自主的な活動の進め方や活動計画作成に理解を深め、円滑な活動ができるよう助言や指導を
行った。

エ 未来キッズ生き生き事業

ボディボード、砂遊び、いわきFCの協力による運動体験、親子でノルディックウォーク体験、い
わき市出身の現役プロ野球選手らの指導による野球教室及びトークショーなどを行い、運動不足の解
消や体力向上を促進し、好評を博した。全6回で、第1・4・5回は主催事業との共催事業である。
福島県委託事業。

ア) 第2・3回未来キッズ生き生き事業

8月5日(土)、同19日(土)9時30分～12時 計178人
ボディボードなどの海活動とおして身体を動かす機会を提供し、参加者の体力・運動能力の向
上、心身のリフレッシュ及び健康増進を促し、いわきの海を満喫した。

イ) 第6回未来キッズ生き生き事業

12月3日(日)10時～14時30分 689人
一部の企画を除き、事前予約不要のオープン参加制で開催した。今年度は、前年度に引き続き、い
わきFCの協力による運動体験、親子でノルディックウォーク体験、いわき市出身の現役プロ野球
選手らの指導による野球教室及びトークショーなどを行い、好評を博した。

オ 心のケアが必要な子ども(不登校等)を対象とした自然体験事業

浜通り地域の不登校傾向にある児童生徒等を対象に、関係機関やスクールカウンセラーと連携を図
りながら自然体験活動や交流体験の機会を提供した。いわき市については、市総合教育センターの協
力を得た。また、11月18日(土)～19日(日)は一泊二日の宿泊体験を実施した。福島県委託事業。

わくわく自然体験

5月26日(金) 20人 磯遊び・魚釣り、草木染め
9月17日(日) 6人 魚釣り、ペンダント作り
10月25日(水) 17人 野外炊飯、すりガラスアート(コップの模様付け)
11月18日(土)～19日(日) 31人 オリエンテーリング、ニュースポーツ(ペタンク)、ペットボトルロ
ケット、宿泊体験
2月2日(金) 14人 餅つき、ニュースポーツ(ペタンク)、年中行事体験(節分) 計88人

カ 出前講座

要請を受け、いわき市立公民館や児童クラブ等に出向き、自然体験活動やクラフトなどのプログラ
ムを提供した。市内の公民館と連携することで、各地域で当所の活動を広報することができた。5団
体、計167人が受講、体験した。詳細は3-(4)-アのとおり。

キ 指定管理施設との連携

当財団管理施設と連携し、4事業を実施した。詳細は3-(4)-イのとおり。

ク 環境ボランティア活動

月 日	回数・参加者数・内容
5月7日(日)、6月10日(土)、 7月23日(日)、8月20日(日)、 9月16日(土)、10月15日(日)、 11月4日(土)、12月2日(土)	全8回 計96人 当所内外における各種活動場所の環境整備を実施した。 花壇・野菜手入れ(東・西ピロティ、なみなみ花壇)、 海岸清掃(舟戸海岸、四倉漁港第四船泊)を実施した。

(7) いわき市生涯学習プラザ

いわき市平字一丁目1番地 平成14年4月16日開館
委託者及び指定管理期間 いわき市 令和2年4月1日～令和7年3月31日

令和5年度の利用者数は61,892人で、前年度に比べて6,224人の増。施設使用許可申請数は2,277件で74件の減となった。この要因は「新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」が、令和5年5月8日に廃止になったことから、半数に制限をしていた部屋の定員数をもとに戻したことと、講座の参加者数が増えたためである。

ア 講座・事業

市民講座は、高度で専門的な講座、地域的課題に関する講座、施設の機能を生かした講座、人材養成に関する講座、親子・異世代間交流に関する講座として、初心者から上級者向けのパソコン講座、家族で協力しながら作るクリスマスリース作り、ドローン講座など、現代の様々な課題に対応する主催講座を実施した。また、ボランティア活用事業として、ITリーダーによるパソコン講座を開催した。子育て支援ボランティアは、幼児とその保護者向けにタオルを用いてのうさぎ作り、ゆびあそびなど乳幼児に対応した講座を提供した。さらに、サークル・団体が実施するサークル企画講座では、朗読教室、楽しい朗読、ラズベリーパイで電車を動かそう！等延べ7講座を実施した。

IT相談会、ふだん着のお茶会、第54回諸流いけばな展などの共催事業は、各団体の協力のもとに事前予約制や人数制限をなくし開催することができた。

(ア) 高度で専門的な講座

a	いわきの文化総合講座1～9（教養充実講座①～⑨）（連携 いわき市教育文化事業団）
	6月28日(水)～2月28日(水)18時30分～20時30分 全9回 延べ113人 受講登録延べ139人 当財団事務局、指定管理施設と連携し、歴史、考古学、民俗、文学、古生物など様々な分野におけるいわきの最新の文化について学んだ。詳細は3-(4)-イのとおり。
b	はじめよう！Word（パソコン実用講座Ⅰ）
	7月6日(木)～7月27日(木)18時30分～20時30分 全4回 延べ59人 受講登録15人 Word初心者対象講座。文字のコピー・貼り付けなどの基礎的な操作や段落・フォントサイズの変更などを理解し、実際に表を作成した。
c	Wordステップアップ！（パソコン実用講座Ⅱ）
	9月7日(木)～9月28日(木)18時30分～20時30分 全4回 延べ84人 受講登録23人 Word中級者対象講座。Wordを使った実用的な文書作成や図形作成、差し込み印刷など応用的なスキルを学んだ。
d	はじめよう！Excel（パソコン実用講座Ⅲ）
	11月2日(木)～11月30日(木)18時30分～20時30分 全4回 延べ91人 受講登録25人 Excel初心者対象講座。データ入力、編集やセルの入力方法などの基礎的な操作を理解し、表の作成からグラフ作成を学んだ。
e	Excelステップアップ！（パソコン実用講座Ⅳ）
	2月8日(木)～2月29日(木)18時30分～20時30分 全4回 計101人 受講登録28人 パソコン経験者を対象に、Excelの実用的な方法を学んだ。
f	Excel上級講座（パソコン実用講座Ⅴ）
	3月7日(木)～3月28日(木)18時30分～20時30分 全4回 計99人 受講登録29人 Excel上級者対象講座。Excelを使った高度な文書作成を学んだ。
g	いわきの考古学講座（いわき再発見講座）（連携 考古資料館）
	11月26日(日)～3月17日(日)13時30分～15時 全5回 延べ196人 受講登録51人 考古資料館と連携し、いわきの古代について様々な角度から学び、理解を深めた。詳細は3-(4)-イのとおり。

(イ) 地域的課題に関する講座

	いわきの自然環境（環境・まちづくり講座）
	10月22日(日)～11月12日(日)14時～16時 全4回 延べ44人 受講登録16人 いわきの里山や海岸など様々な環境に生息する植物・動物・昆虫について学んだ。

(ウ) 施設の機能を生かした講座

a	パソコンはじめの一步 (IT入門講座)
	5月13日(土)～6月3日(土)10時～12時 全4回 延べ33人 受講登録10人 パソコン初心者対象講座。パソコンの電源の入れ方から電子メール・インターネットの使い方まで、基本操作を学んだ。
b	自分だけの器をつくる (陶芸講座Ⅰ)
	7月17日(月)祝～8月28日(月)18時30分～20時30分 全4回 延べ63人 受講登録18人 陶芸家の秤屋苑子先生を講師に迎え、創作する喜びを深めながら陶芸の基本技術を学び、自分だけの器を作った。
c	大人の陶芸 (陶芸講座Ⅱ)
	10月7日(土)～10月14日(土)10時～12時 全2回 延べ28人 受講登録14人 大堀相馬焼春山窯窯元の小野田利治先生を講師に迎え、土の感触を楽しみながら陶芸の基本を学び、自分だけの器を作った。
d	七宝でつくるアクセサリー1 (ものづくり講座①)
	7月15日(土)～7月22日(土)10時～12時 全2回 延べ20人 受講登録12人 古川栄子先生を講師に迎え、七宝焼きの基本技法を学び、ブローチやペンダントなどのオリジナルアクセサリーを制作した。
e	はじめての編み物 (ものづくり講座②)
	11月19日(日)～12月3日(日)10時～12時 全3回 延べ17人 受講登録6人 鎖編み・細編み・引き抜き編みを習得し、ミニマフラーを作った。
f	七宝でつくるアクセサリー2 (ものづくり講座③)
	1月20日(土)～1月27日(土)10時～12時 全2回 延べ15人 受講登録12人 古川栄子先生を講師に迎え、七宝焼きの基本技法を学び、ブローチやペンダントなどのオリジナルアクセサリーを制作した。
g	四季を生ける (華道講座)
	6月17日(土)～3月16日(土)14時～16時 全4回 延べ50人 受講登録16人 梶井華道会の山崎秀婉先生を講師に迎え、生け花の基本と草花や器に関する基礎知識を学んだ。
h	茶道への誘い (茶道講座)
	9月8日(金)～10月27日(金)18時30分～20時30分 全8回 延べ60人 受講登録8人 (一社)茶道裏千家淡交会いわき支部の鈴木宗恵先生を講師に迎え、お点前の技術、茶道具の扱い方、所作を学び、おもてなしの心に触れながらお茶を点てることを楽しんだ。
i	英語で話そう! (語学講座Ⅰ)
	6月15日(木)～7月20日(木)18時30分～20時30分 全6回 延べ70人 受講登録20人 いわき市外国語指導助手のシェザヌル・ラマン先生を講師に迎え、簡単な英会話のコミュニケーションを体感し、国際理解を深めた。
j	目指せ!ペラペラ (語学講座Ⅱ)
	9月22日(金)～10月27日(金)18時30分～20時30分 全6回 延べ66人 受講登録15人 いわき市外国語指導助手のシェザヌル・ラマン先生を講師に迎え、より高度な英会話のコミュニケーションを学んだ。
k	楽しく!美BODY (健康体力づくり講座①)
	8月18日(金)～9月22日(金)19時30分～21時30分 全5回 延べ44人 受講登録15人 吉田美保先生を講師に迎え、ストレッチ・ヨガ・ピラティス等を楽しみながら体験し、美しい姿勢・身体作りを学んだ。
l	太極拳で健康になろう! (健康体力づくり講座②)
	10月8日(日)～11月12日(日)10時～12時 全5回 延べ50人 受講登録14人 吉田みやこ先生を講師に迎え、姿勢や動きに注意しながら太極拳を行い心身ともに整えた。
m	太極拳で健康になろう! 2 (健康体力づくり講座③)
	1月14日(日)～2月11日(日)10時～12時 全5回 延べ37人 受講登録9人 吉田みやこ先生を講師に迎え、姿勢や動きに注意しながら太極拳を行い心身ともに整えた。

(エ) 人材養成に関する講座

交友でたどる草野心平の生涯～死んだら死んで生きてゆくのだ～（地域サポーター養成講座） （連携 草野心平記念文学館）
1月13日(土)～2月24日(土)10時～12時 全6回 延べ66人 受講登録15人 草野心平生誕120周年記念講座。草野心平の生涯と詩人や芸術家との交友について学んだ。詳細は3-(4)-イのとおり。

(オ) 親子・異世代間交流に関する講座

a 親子でつくる自分だけの器1 A・B（親子陶芸講座①）
7月1日(土) A 10時～12時 8組15人 受講登録9組21人 B 14時～16時 10組23人 受講登録10組23人 大堀相馬焼春山窯窯元の小野田利治先生を講師に迎え、親子で楽しく陶芸を体験し、世界でひとつだけの器を作った。
b 親子でつくる自分だけの器2 A・B（親子陶芸講座②）
11月4日(土) A 10時～12時 9組23人 受講登録9組23人 B 14時～16時 2組4人 受講登録2組4人 大堀相馬焼春山窯窯元の小野田利治先生を講師に迎え、親子で楽しく陶芸を体験し、世界でひとつだけの器を作った。
c 親子でプリザーブドフラワーに挑戦（親子ものづくり講座①）
6月10日(土)10時～12時 3組6人 受講登録3組6人 落合陽子先生を講師に迎え、親子で協力しながらプリザーブドフラワーを飾り付け、オリジナルのフラワーアレンジメントを作った。
d カラフルな石鹸を作ろう！（親子ものづくり講座②）
8月19日(土)10時～12時 8組18人 受講登録8組18人 若松美保先生を講師に迎え、各々好きな色、形のオリジナルの宝石石鹸を作った。
e 絵手紙を描こう（親子ものづくり講座③）
12月9日(土)10時～12時 2組4人 受講登録2組4人 木村恵子先生を講師に迎え、絵手紙の基礎を学び、個性豊かな絵手紙を制作した。
f 親子でつくるクリスマスリース（親子ものづくり講座④）（連携 いわき海浜自然の家）
12月16日(土)10時～12時 9組20人 受講登録9組20人 いわき海浜自然の家の職員が講師を務め、親子で協力し、本格的なクリスマスリースを制作した。詳細は3-(4)-イのとおり。
g ロボットプログラミング教室（プログラミング講座）
7月22日(土)～8月19日(土)10時～12時 全3回 延べ22人 受講登録8人 第1級無線技術士小林克雄先生を講師に迎え、ロボットカーの仕組みとパソコンを用いて簡単なプログラミングを作成し、入力されたロボットカーを実際に動かして楽しんだ。
h ドローンを使って写真を撮ろう！（新規特別講座）
11月26日(日)9時～11時30分 3組11人 受講登録4組12人 (株)東日本計算センターを講師に迎え、ドローンの仕組みや操作方法を学び、コントローラーやパソコンを使ってドローンを動かした。

(カ) ITリーダー企画講座（ボランティア活用事業Ⅰ）

a Gmail活用講座（ITリーダー企画講座①）
5月28日(日)10時～12時30分 16人 受講登録24人 受信したメールの振り分け方法や有効期限の設定など、意外と知られていない便利な機能を学んだ。
b Word操作応用講座1（ITリーダー企画講座②）
6月25日(日)10時～12時30分 13人 受講登録16人 Wordを使った折りたたみ小冊子（ZINE）の作り方を学んだ。
c Excel操作応用講座1（ITリーダー企画講座③）
7月30日(日)10時～12時30分 16人 受講登録22人 PowerPivotを用いたデータ集計の仕方を学んだ。

d	パソコンでいろいろ作ってみよう！（ITリーダー企画講座④）
	8月27日(日)10時～12時30分 7組15名 受講登録10組21名 親子で好きな画像を使って、アイロンプリントでオリジナルのバッグを作った。
e	PowerPoint操作活用講座（ITリーダー企画講座⑤）
	9月24日(日)10時～12時30分 20人 受講登録24人 プレゼンテーションソフト「PowerPoint」を用いて、文字入力、図形や画像の挿入、グラフの入力等様々な使い方を学んだ。
f	Excel操作応用講座2（ITリーダー企画講座⑥）
	10月29日(日)10時～12時30分 18人 受講登録20人 条件付き書式やデータの入力規則、ドロップダウンリスト等各種機能を使ったExcelの数式を学んだ。
g	筆まめ年賀状作成講座（ITリーダー企画講座⑦）
	11月26日(日)10時～12時30分 11人 受講登録13人 「筆まめ」のソフトを使用し、操作方やイラストの挿入方法、宛名作成を学び、年賀状を作成した。
h	ソフト「ラベル屋さん」活用講座（ITリーダー企画講座⑧）
	12月17日(日)10時～12時30分 4組11人 受講登録5組13人 「ラベル屋さん」を使って名前シールやカレンダーを制作した。
i	Word操作応用講座2（ITリーダー企画講座⑨）
	1月28日(日)10時～12時30分 19人 受講登録23人 「Word」の編集機能等、一步進んだ操作方法を学んだ。
j	Google活用講座（ITリーダー企画講座⑩）
	2月25日(日)10時～12時30分 15人 受講登録18人 Googleフォームの作り方や、スプレッドシートの使い方等を学んだ。
k	エクセルマクロ講座（ITリーダー企画講座⑪）
	3月24日(日)10時～12時30分 23人 受講登録25人 エクセル作業を自動化するためのマクロの使い方を学んだ。

(キ) 子育て支援ボランティア活用事業（ボランティア活用事業Ⅱ）

a	プラザおはなし会
	4月14日(金)～3月8日(金)11時～11時30分 全12回（1月は中止） 計40人（19家族） 5階「遊びと憩いの広場」で実施し、紙芝居と絵本の読み聞かせ、パネルシアターや簡単な手遊び・歌を親子で楽しんだ。
b	うさぎのダンス♪（子育てボランティア活用講座①）
	5月27日(土)10時30分～12時 4組11人 受講登録 5組13人 好きな色で兎の絵に色を塗り、割りばしと牛乳パックで動かせるおもちゃを作って遊んだ。
c	ぷかぷか～タコ釣り！（子育てボランティア活用講座②）
	7月22日(土)10時30分～12時 6組15人 受講登録 7組18人 紙コップで作ったタコを水に浮かべ、ストローで作った釣り竿で釣って遊んだ。
d	わらべうた&タオルあそび（子育てボランティア活用講座③）
	9月30日(土)10時30分～12時 2組7人 受講登録 3組9人 親子で色々なわらべうたを歌い、タオルを使いながら踊って遊んだ。
e	クリスマス☆ミニツリーを作ろう！（子育てボランティア活用講座④）
	11月25日(土)10時30分～12時 2組6人 受講登録 6組18人 画用紙と牛乳パックでかわいいミニツリーを作った。
f	やさしい*ゆびあみ（子育てボランティア活用講座⑤）
	1月27日(土)10時30分～12時 5組14人 受講登録 6組16人 親子でゆびあみをし、毛糸のシュシュを制作した。
g	いないいないばあ！～おもしろ百面相～（子育てボランティア活用講座⑥）
	3月23日(土)10時30分～12時 6組15人 受講登録 7組17人 顔がパタパタ変わる折り紙を作った。

ク) サークル企画講座（ボランティア活用事業Ⅲ）

a 朗読教室 1（サークル企画講座①）
5月10日(水)～7月26日(水)18時30分～20時 全6回 延べ32人 受講登録6人 いわき絵本と朗読の会の指導を受けながら、黒柳徹子作「窓ぎわのトットちゃん」を味わい、朗読のコツを身につけた。
b 楽しい朗読 1（サークル企画講座②）
5月12日(金)～7月21日(金)13時30分～15時 全6回 延べ47人 受講登録10人 いわき絵本と朗読の会の指導を受けながら、黒柳徹子作「窓ぎわのトットちゃん」を味わい、朗読のコツを身につけた。
c 朗読教室 2（サークル企画講座③）
9月13日(水)～11月22日(水)18時30分～20時 全6回 延べ37人 受講登録7人 いわき絵本と朗読の会の指導を受けながら、山本周五郎作「おもかげ」を味わい、朗読のコツを身につけた。
d 楽しい朗読 2（サークル企画講座④）
9月15日(金)～11月24日(金)13時30分～15時 全6回 延べ48人 受講登録12人 いわき絵本と朗読の会の指導を受けながら、山本周五郎作「おもかげ」を味わい、朗読のコツを身につけた。
e 普段使いの小物を作ろう！（サークル企画講座⑤）
11月30日(木)～12月21日(木)18時30分～20時30分 参加者少数のため中止
f 朗読教室 3（サークル企画講座⑥）
1月10日(水)～3月27日(水)18時30分～20時 全6回 延べ36人 受講登録7人 いわき絵本と朗読の会の指導を受けながら、松本清張作「菊枕」を味わい、朗読のコツを身につけた。
g 楽しい朗読 3（サークル企画講座⑦）
1月12日(金)～3月29日(金)13時30分～15時 全6回 延べ66人 受講登録14人 いわき絵本と朗読の会の指導を受けながら、松本清張作「菊枕」を味わい、朗読のコツを身につけた。
h ラズベリーパイで電車を動かそう！（サークル企画講座⑧）
3月10日(日)13時～16時 8組22人 受講登録10組25人 超小型コンピュータ「ラズベリーパイ」で電車を動かし、その仕組みを学んだ

ケ) 各種団体共催事業

a IT相談会
4月11日(火)～3月26日(火)14時～16時 全24回 計27人 パソコン初心者・高齢者を対象に、インターネットWord、ExcelなどのITに関する相談・質問にボランティアスタッフが対応した。
b ふだん着のお茶会 1・2
6月10日(土)、11月11日(土)10時～15時 計95人 (一社)茶道裏千家淡交会いわき支部と共催し、日本の伝統文化である茶の湯を体験した。
c 第54回諸流いけばな展
3月9日(土)、同10日(日) 計321人 いわき市華道連合会と共催し、6流派によるいけばな展を開催した。

コ) 全市的な事業

全市的な事業として、広く市民に浸透している「いわきヒューマンカレッジ（市民大学）」は、「健康増進学部」「地域経済学部」「SDGs探究学部」「いわき学部」の4学部を開設し、200人の入学者数となり、市民の学習ニーズにあった学部を開講することができた。また、福島大学との連携・協力による特別講座を2回実施した。童門冬二学長による学長講演は、入学式において「徳川家康の日本経営法」との演題で事前収録映像を上映した。今年度も引き続き学長講演及び一部講座については「i Tube（いわき市公式動画チャンネル）」上での視聴を可能とした。

第19回「生涯学習フェスティバル」は、幅広い年齢層を対象に、プラザ利用団体や関係機関の協力により様々な発表・展示・体験などを行い好評を博した。今回は、地元小学校の合唱、高校の茶道部体験、ベリーダンスなどの特別講座なども行い、224人の入館者があり、多くの市民へ学習の場

・交流の場を提供することができた。

「いわきヒューマンカレッジ（市民大学）」や「生涯学習フェスティバル」の運営や講座の実施にあたっては、「いわき市生涯学習支援ボランティアの会」の支援により円滑に運営することができた。

a いわきヒューマンカレッジ（市民大学）	
(a)	第54回理事会 5月22日(月)10時～12時 19人 令和5年度いわきヒューマンカレッジ実施内容等について
(b)	入学式・学長講演（会場 いわき市文化センター）9月2日(土)13時～15時 165人 入学式及び童門冬二学長講演（事前収録を放映）を実施した。
(c)	健康増進学部（会場 医療創生大学）9月9日(土)～11月11日(土)10時～12時 全7回 延べ513人 受講登録93人 身体的、社会的、精神的に健康な生活を送るために生活スタイルを見直し、変えていくための方法を学んだ。
(d)	地域経済学部（会場 東日本国際大学）9月9日(土)～11月11日(土)14時～16時 全7回 延べ108人 受講登録20人 社会全体で多様性が求められる中で、持続可能な地域のまちづくりについて学んだ。
(e)	SDGs探究学部（会場 福島工業高等専門学校）9月9日(土)～10月28日(土)14時～16時 全7回 受講者 延べ122人 受講登録22人 未来につながる材料、江戸の暮らし、再生可能エネルギー、防災、まちづくり、カーボンニュートラル、高専ロボコン等について探究した。
(f)	いわき学部（会場 生涯学習プラザ）9月8日(金)～10月18日(水)14時～16時 全7回 延べ353人 受講登録65人 いわき特有の天然記念物や考古資料をはじめ、近世の温泉事情や身の回りの民俗、美術館コレクションやまちづくりを題材に、いわきの昔、今、未来について考えた。
(g)	史蹟探訪 11月19日(日)9時～17時 60人 受講登録73人 白河小峰城跡、小峰城歴史館、棚倉城跡を見学した。
(h)	修了式（会場 いわき市文化センター）12月2日(土)13時～14時55分 120人 修了式及び各学部代表講師・神山常任理事による講演会を実施した。
(i)	第55回理事会 2月5日(月)14時～15時 18人 令和5年度いわきヒューマンカレッジの実施状況について 令和5年度いわき市生涯学習支援ボランティアの会の活動状況について 令和6年度いわきヒューマンカレッジ実施計画案の取りまとめについて
b 第19回生涯学習フェスティバル	
2月17日(土)9時30分～16時30分、同18日(日)9時30分～16時 計4,224人 プラザを利用する団体や関係機関の協力により、発表・展示・実演・体験等を行い、市民との交流を深めた。また、当財団指定管理施設と連携し、各施設の特色を生かした体験会や展示等を行った。詳細は3-(4)-イのとおり。	
c 福島大学・いわき市連携講座（会場 生涯学習プラザ）	
(a)	「おいしさの科学、調理の科学」 12月9日(土)14時～16時 49人 料理をおいしく感じる理由を科学的な観点から学んだ。
(b)	「土地の味、未来の食卓 いわき昔野菜の普及戦略」 12月23日(土)14時～16時 41人 植物品種や栽培化と多様性、伝統野菜とブランド野菜について学んだ。

(イ) その他の自主事業

a 七夕飾り	
7月7日(金)～8月8日(火) 43人 5階市民ロビーに笹竹を2本設置し、来館者の願いを込めた短冊を、市民と協働で飾りつけた。	
b 雑誌リサイクル会	
7月23日(日)13時～14時 11人 5階情報コーナーにある古い雑誌の無料リサイクル会を開催した。	

c	クリスマスディスプレイ
11月25日(土)～12月25日(月)	
来館者にクリスマスを身近に感じ、楽しむことができるように「遊びと憩いの広場」の一角にクリスマス飾りをつけた。5階市民ロビーにはクリスマスツリーを設置した。	

シ) 情報収集・提供事業

広報に関しては、年間事業案内、講座・イベントごとの詳細な案内チラシを市内公共施設に配布したほか、ホームページやSNSなどのメディアで情報提供を行った。また、利用者懇談会やアンケート調査でモニタリングを重ね、市民目線に立った効率的な管理運営に努めた。

a	ホームページ・講座案内チラシ・広報「いわき」・年間事業案内パンフレット
4月1日(土)～3月31日(日)	
毎月、開講講座をホームページで案内するとともに、関係機関にチラシを配布、広報した。生涯学習情報の収集、提供を図り、事業案内や市民からの問い合わせに積極的に活用した。	
b	プラザだより第75号・第76号
12月28日(木)、3月29日(金)	
各種講座の募集要項や、実施事業の報告などを掲載し、市内公共施設に配布するとともにホームページでも公開した。年2回発行し、情報をわかりやすく提供する手段として活用できた。	
c	いわきまなびあいバンク事業
4月1日(土)～3月31日(日)	
市民講師、社会教育関係団体の情報データベースであるいわきまなびあいバンクの情報収集及び維持管理を行い、ホームページ上の情報を更新し、PDF版「いわきまなびあいバンク」を発行した。まなびあいバンクに登録する市民講師の新規募集及び現在登録情報を悉皆調査し、最新情報を提供した。	

イ レファレンス対応

講師・サークルの紹介や、生涯学習に関する相談を電話・窓口・メールなどで受け付け、計39件の相談に対応した。

ウ 利用者懇談会

日時	出席委員数	議題
第1回利用者懇談会 9月27日(水)14時～15時	36団体 45人	令和5年度の利用状況と事業概況について いわき市生涯学習プラザへの要望等について 令和6年度サークル企画「一般体験講座」「学校体験講座」について 「第19回生涯学習フェスティバル」の概要について
第2回利用者懇談会 1月23日(火)14時～15時	39団体 55人	令和6年度生涯学習プラザ社会教育関係団体登録について 令和6年度生涯学習プラザ団体ロッカー・倉庫使用団体登録について 「いわき市公共施設予約案内システム利用者登録申請」について いわき市生涯学習プラザへの要望等について 第19回生涯学習フェスティバルについて

エ 生涯学習支援ボランティアの会

日時	出席委員数	議題
第1回役員会 4月12日(水) 13時30分～14時30分	10人	令和5年度いわき市生涯学習支援ボランティアの会活動日程概要について 令和5年度いわきヒューマンカレッジ(市民大学)いわき学部について 令和5年度市民大学・史跡探訪について 機関誌「Voluntary Association」第19・20合併号について
第2回役員会 5月10日(水) 13時30分～14時30分	9人	いわき学部開講内容(案)について 史跡探訪(案)について いわきヒューマンカレッジ(市民大学)入学式日程について いわきヒューマンカレッジ(市民大学)学長講演について

日 時	出席委員数	議 題
		いわき市生涯学習支援ボランティアの会の皆様への支援依頼について
第3回役員会 7月12日(水) 13時30分～14時30分	10人	入学式当日のスケジュールについて 入学式等の役割分担について 学部運営の役割分担について ヒューマンカレッジ(市民大学)運営等支援依頼結果について ヒューマンカレッジ運営等支援実行委員会等について いわき市いきいきシニアボランティアポイント事業について
第4回役員会 11月8日(水) 13時30分～14時30分	9人	いわきヒューマンカレッジ(市民大学)学部運営・支援について いわきヒューマンカレッジ(市民大学)修了式・講演会役割分担について 福島大学・いわき市連携講座の支援について 第19回生涯学習フェスティバルの支援について
第5回役員会 2月14日(水) 16時15分～17時15分	9人	いわきヒューマンカレッジ(市民大学)について 令和6年度いわき市生涯学習支援ボランティアの会総会について 機関誌「Voluntary Association」第21号について
第6回役員会 3月13日(水) 13時30分～14時30分	10人	令和6年度いわきヒューマンカレッジ(市民大学)のいわき学部の内容等の検討について
令和5年度総会 3月22日(金) 13時30分～14時30分	21人	令和5年度活動状況について 令和6年度事業計画(案)について

3 管 理 部 門 （ 法 人 会 計 ）

(1) 組織運営について

円滑な組織運営を図るため、原則毎月第1金曜日に、施設長会議または事務担当者会議を開催し、情報の共有と諸課題の解決を図った。

指定管理期間最終年度のいわき市立草野心平記念文学館、いわき市草野心平生家、いわき市暮らしの伝承郷、いわき市アンモナイトセンター、いわき市考古資料館、福島県いわき海浜自然の家は、新規の指定管理者選定が実施され、当財団が引き続き5年間の指定管理者の指定を受けた。

(2) 人材育成について

ア 基本研修

ふくしま自治研修センターによる「基礎力アップ研修」・「応用力アップ研修」・「実行力アップ研修」・「再任用職員の働き方講座」・「有事の危機管理講座」の各種研修・講座に10名を派遣した。さらに、いわき労働基準協会主催の安全関係講習等も活用し、職場の安全向上に努めた。

イ 自主研修制度

自主研修は7名が実施した。図書購入補助は、13名が専門書等の購入補助を申請した。

ウ 研究紀要の刊行

職員の資質の向上と調査研究の成果を市民に還元することを目的とした『研究紀要』第21号を刊行した。内容は、考古・民俗・文学・歴史の各分野から、9編の原稿を収録した。

(3) 情報発信・広報等について

当財団ホームページに、財務諸表及び各施設の事業計画や「出前講座」の募集等の各種情報を掲出した。また、SNSを活用し、各施設で開催する事業を速やかに告知、案内した。

さらに、当財団の令和4年度の事業運営内容を記録、紹介するための「令和4年度年報」を刊行した。

学校の長期休暇期間中の各施設の事業については、共同でチラシを作成して市内の保育園・幼稚園・小学校及び社会教育施設等に配布することで、参加者増に努めた。また、指定管理8施設の事業及び1年間の催し物を掲載した「事業のご案内」リーフレットを引き続き作成し、各施設の利用者へ配布し、周知を図った。

(4) 啓発事業について

ア 出前講座・展示

当財団職員の専門性を活かした出前講座は、31団体（公民館6館、高等学校1校、中学校2校、小学校13校、学童保育3校、他団体6団体）43講座の依頼があり、1,248人の受講者があった。

月 日	会 場	講座内容	講師（所属）	受講者数
5月12日(金)	いわき市立三和公民館	考古学からみた三和の歴史	大滝駿介 (事務局調査係)	7人
5月19日(金)	いわき市立三和公民館	いわきの中世館跡	中山雅弘 (事務局調査係)	6人
5月26日(金)	いわき市立三和公民館	三和の暮らしと信仰	山田りぼん (暮らしの伝承郷)	6人
6月2日(金)	いわき市立三和公民館	いわきのじゃんがら念仏踊り	夏井芳徳 (暮らしの伝承郷)	7人
6月6日(火)	いわき放射能市民測定室たらちね	泉地区の廃仏毀釈について	中山雅弘 (事務局調査係)	3人
6月9日(金)	いわき市立三和公民館	三和のむかしばなし	夏井芳徳 (暮らしの伝承郷)	7人
7月8日(土)	いわき市立錦公民館	土曜学習「土器・土偶づくり体験」	木幡成雄 (考古資料館)	44人
7月11日(火)	神谷作101号墳、八幡横穴	高久の古墳から出土している遺物について現地説明 (主催 いわき市立高久小学校)	樫村友延 (事務局調査係)	25人

月 日	会 場	講座内容	講師（所属）	受講者数
7月21日(金)	いわき市立 植田公民館	植田地域の江戸時代	中山雅弘 (事務局調査係)	7人
7月28日(金)	錦星こども園	いわきの恐竜時代について (主催 きんせい学童クラブ)	歌川史哲 (アンモナイトセンター)	32人
	いわき市立 長倉小学校	クラフト体験 (主催 ときわ児童クラブ)	いわき海浜自然の家 体験活動指導員	32人
7月29日(土)	ひろの未来館	化石の発掘体験	歌川史哲 (アンモナイトセンター)	29人
7月30日(日)	生涯学習プラザ	[出前展示] 文字に書く夢講座 (主催 吉野せい賞運営委員会)	草野心平記念文学館、 勿来関文学歴史館	-
8月9日(水)	八幡小路会館	いわきの昔話 (主催 いわき市社会福祉協議会 平地区協議会)	夏井芳徳 (暮らしの伝承郷)	21人
8月18日(金)	いわき市立 長倉小学校	クラフト体験 (主催 ときわ児童クラブ)	いわき海浜自然の家 体験活動指導員	37人
8月22日(火)	いわき市立 江名小学校	クラフト体験 (主催 江名かもめ児童クラブ)	いわき海浜自然の家 体験活動指導員	26人
8月23日(水)	南白土公民館	いわき市の年中行事 (主催 いわき市社会福祉協議会 平地区協議会)	夏井芳徳 (暮らしの伝承郷)	21人
8月26日(土)	いわき市立 夏井公民館	藤間っ子土曜クラブ「クラフト 活動」	いわき海浜自然の家 体験活動指導員	48人
9月30日(土)	いわき市立 山田公民館	土曜学習「楽しいはにわづくり」	木幡成雄 (考古資料館)	23人
10月3日(火)	いわき市立 川部中学校	はにわづくり体験	木幡成雄 (考古資料館)	14人
10月5日(木)	いわき市立 小名浜第一小学校	化石の発掘体験講座	歌川史哲、佐藤弓人 (アンモナイトセンター)	37人
10月19日(木)	いわき市立 小川小学校	総合的な学習の時間「私の職業 文学や人々の暮らしを研究し、 伝えるー学芸員ー」	渡邊 彩 (草野心平記念文学館)	29人
10月20日(金)	いわき市立 好間第四小学校	ふるさと学習ー大利地区ー	夏井芳徳 (暮らしの伝承郷)	12人
10月23日(月)	いわき市立 好間第四小学校	ふるさと学習ー榎小屋地区ー	夏井芳徳 (暮らしの伝承郷)	10人
10月26日(木)	いわき市立 中央台北中学校	いわきのじゃんがら念仏踊り	夏井芳徳 (暮らしの伝承郷)	130人
10月28日(土)	いわき市立 夏井公民館	藤間っ子土曜学習「まが玉づく り体験」	渡邊芳一 (考古資料館)	42人
10月29日(日)	いわき市立 小川公民館	[出前展示] 秋祭り inおがわ2023	草野心平記念文学館	-
11月1日(水)	いわき市立 藤原小学校	常磐藤原地区の歴史	木幡成雄 (考古資料館)	72人
11月7日(火)	いわき翠の杜高校	化石のクリーニング体験	歌川史哲 (アンモナイトセンター)	10人
11月8日(水)	いわき翠の杜高校	化石のクリーニング体験	歌川史哲 (アンモナイトセンター)	10人
11月10日(金)	いわき秀英小学校	いわきの伝統芸能とまつり	山田りぼん (暮らしの伝承郷)	12人
11月30日(木)	いわき市立 長倉小学校	小川江筋について	夏井芳徳 (暮らしの伝承郷)	38人

月 日	会 場	講座内容	講師（所属）	受講者数
12月1日(金)	いわき市立 小川小学校	小川江筋について	夏井芳徳 (暮らしの伝承郷)	36人
12月14日(木)	いわき市立 泉小学校	小川江筋について	夏井芳徳 (暮らしの伝承郷)	88人
12月18日(月)	いわき市立 泉小学校	小川江筋について	夏井芳徳 (暮らしの伝承郷)	31人
1月22日(月)	いわき市立 好間第一小学校	昔の道具や暮らしについて学ぼう、昔遊び体験	山田りぼん (暮らしの伝承郷)	43人
1月24日(水)	いわき市立 平第一小学校	むかしからつたわるあそびをたのしもう、昔遊び体験	馬目紗希、山田りぼん (暮らしの伝承郷)	86人
1月29日(月)	いわき市立 川部中学校	戊辰戦争について	夏井芳徳 (暮らしの伝承郷)	38人
2月8日(木)	いわき市立 中央台北小学校	いわきの歴史について	夏井芳徳 (暮らしの伝承郷)	41人
	いわき市立 久之浜第一小学校	昔の道具の説明と石臼・洗たく板体験	山田りぼん (暮らしの伝承郷)	25人
2月24日(土)	かがやきプラザ (千代田区立高齢者総合サポートセンター)	化石の体験発掘講座 (主催 千代田区多世代交流事業 ひだまりサロン)	歌川史哲 (アンモナイトセンター)	34人
2月26日(月)	いわき市立 湯本第二小学校	昔の生活の道具や昔遊び体験	山田りぼん (暮らしの伝承郷)	18人
3月12日(火)	いわき市立 好間公民館	貝飾りのクラフト体験 (主催 社会福祉法人いわきの里)	いわき海浜自然の家 体験活動指導員	24人

イ 指定管理施設等との連携

当財団の指定管理施設及び事務局調査係間で連携し、施設の主題や特色をはじめ、地域の歴史を多角的に鑑賞、体験、学習する機会を創出し、文化振興を図った。

ア) 暮らしの伝承郷「キッズミュージアムin伝承郷」	
5月3日(水)	ゴム鉄砲射的・輪投げなどの昔遊びプログラム (いわき海浜自然の家) 141人
イ) 生涯学習プラザ「いわきの文化総合講座」(教養充実講座)	
6月28日(水)	第1回「山名菅村～俳句とその生涯～」 8人 講師 渡邊千香 (勿来関文学歴史館)
7月26日(水)	第2回「岩城親隆と南奥の戦国時代」 20人 講師 佐藤耕太郎 (勿来関文学歴史館)
8月23日(水)	第3回「平城跡とその周辺の発掘調査について」 13人 講師 高橋忠道 (事務局調査係)
9月27日(水)	第4回「草野心平の詩」 10人 講師 馬目聖子 (草野心平記念文学館)
10月25日(水)	第5回「小川江筋と愛谷江筋」 13人 講師 馬目紗希 (暮らしの伝承郷)
11月22日(水)	第6回「いわきの民俗芸能について」 11人 講師 山田りぼん (暮らしの伝承郷)
12月27日(水)	第7回「いわきの横穴－餓鬼堂横穴群とその周辺」 12人 講師 千田一志 (事務局調査係)
1月24日(水)	第8回「風船爆弾と偏西風～太平洋を渡った秘密兵器～」 18人 講師 榎良幸広 (事務局調査係)
2月28日(水)	第9回「いわきの獅子舞」 8人 講師 駒木根栄一 (いわき海浜自然の家) 延べ113人受講
ウ) 勿来関文学歴史館テーマ展「草野心平生誕120周年記念 草野心平書の詩歌碑～石に刻まれた心平の書～」	
9月2日(土)～10月29日(日) 1,231人 開催にあたり、草野心平記念文学館に収蔵している資料を借用し、展示した。	
エ) 草野心平記念文学館スポット展示「いわきの古生物」	
9月9日(土)	関連事業「体験発掘『三葉虫を取り出そう!』」(アンモナイトセンター) 15人

(イ) いわき海浜自然の家「秋のオープンデー」	
10月29日(日)	「カエルの折り紙」(草野心平記念文学館) 192人 「三葉虫のミニ体験発掘」(アンモナイトセンター) 88人 「土器・土偶・はにわづくり体験」(考古資料館) 60人
(カ) 生涯学習プラザ「いわきの考古学講座」(いわき再発見講座) 全5回 (考古資料館企画展の主題「いわきの古代を探る」関連講座)	
11月26日(日)	第1回「『古代のいわきと西日本』-『和』郷のナゾを解く-」 45人 講師 太田勇陽(事務局調査係)
12月24日(日)	第2回「渡来系からみた古代の陸奥南部といわき」 40人 講師 菅原祥夫氏(福島県文化財センター白河館)
1月28日(日)	第3回「古代磐城郡の郡衙とその周辺」 38人 講師 猪狩みち子氏(広野町教育委員会)
2月25日(日)	第4回「古代陸奥国磐城郡出土の須恵器について」 38人 講師 高橋忠道(事務局調査係)
3月17日(日)	第5回「白河郡衙遺跡群」 35人 講師 鈴木 功氏(白河市建設部文化財課)
延べ196人受講	
(キ) 生涯学習プラザ「交友でたどる草野心平の生涯～死んだら死んだで生きてゆくのだ～」 (草野心平生誕120周年記念講座)	
1月13日(土)	第1回「草野心平の生涯」 13人 講師 渡邊 彩(草野心平記念文学館)
同20日(土)	第2回「草野心平のアンソロジー～猪狩満直・吉野せい～」 13人 講師 長谷川由美(草野心平記念文学館)
同27日(土)	第3回「凄烈な前橋生活～萩原朔太郎・草野天平～」 10人 講師 馬目聖子(草野心平記念文学館)
2月3日(土)	第4回「天才と巨人～宮沢賢治・高村光太郎～」 12人 講師 渡邊 彩(草野心平記念文学館)
同10日(土)	第5回「青春無頼～中原中也～」 10人 講師 長谷川由美(草野心平記念文学館)
同24日(土)	第6回「転・転・転～棟方志功～」 8人 講師 馬目聖子(草野心平記念文学館)
延べ66人受講	
(ク) 生涯学習プラザ「親子ものづくり講座④」	
12月16日(土)	「親子でつくるクリスマスリース」 9組20人 講師 今野 樹(いわき海浜自然の家)
(ケ) 生涯学習プラザ「第19回生涯学習フェスティバル」	
2月17日(土)～2月18日(日)	「草野心平の海をテーマにした詩や、心平自作詩朗読2篇の紹介などの 出前展示」(草野心平記念文学館)
同	「磐城七浜捕鯨絵巻複製の出前展示」(勿来関文学歴史館)
同	「ニュースポーツ体験」(いわき海浜自然の家) 346人
2月17日(土)	「水晶ジオードのミニ体験発掘」(アンモナイトセンター) 13人
同	「まが玉づくり体験会」(考古資料館) 5人
2月18日(日)	歴史講座「磐城平のまちなかが歴史の舞台に」 47人 講師 夏井芳徳(暮らしの伝承郷)

Ⅲ 評議員会・理事会に関する事項

1 評議員会

- (1) **定時評議員会** 6月27日提出、同日議決 会場 いわき市生涯学習プラザ4階中会議室
議案 第1号 令和4年度決算の承認について
第2号 理事の選任について
- (2) **臨時評議員会（書面決議）** 3月27日提出、同日議決
議案 第1号 評議員の選任について
第2号 理事の選任について

2 理事会

- (1) **第1回理事会** 5月22日提出、同日議決 会場 いわき市生涯学習プラザ4階大会議室
議案 第1号 令和4年度決算の承認について
第2号 令和5年度定時評議員会の招集について
報告 第1号 令和5年度経過報告（4月）
- (2) **第2回理事会（書面決議）** 6月27日提出、同日議決
議案 第1号 公益財団法人いわき市教育文化事業団理事長の選定について
- (3) **第3回理事会** 12月25日提出、同日議決 会場 いわき市文化センター2階第1会議室
議案 第1号 専決処分承認について（令和5年8月17日専決第1号）
第2号 専決処分承認について（令和5年11月1日専決第2号）
第3号 給与等に関する規程及び定年退職者の再雇用に関する規程の改正について
第4号 令和5年度収支補正予算（第3号）について
報告 第1号 指定管理者の内定について
第2号 債券の購入について
第3号 令和5年度経過報告（5月～11月）
- (4) **第4回理事会（書面決議）** 2月13日提出、同日議決
議案 第1号 役員賠償責任保険契約について
- (5) **第5回理事会** 3月19日提出、同日議決 会場 いわき市生涯学習プラザ4階大会議室
議案 第1号 就業規則の改正について
第2号 給与等に関する規程の改正について
第3号 令和6年度事業計画及び収支予算について
第4号 令和5年度臨時評議員会の招集について
報告 第1号 令和5年度経過報告（12月～2月）
- (6) **第6回理事会（書面決議）** 3月28日提出、同日議決
議案 第1号 公益財団法人いわき市教育文化事業団理事長の選定について

3 監査

- (1) **事前監査** 5月11日 会場 いわき市考古資料館講義室 内容 令和4年度決算審査の事前監査
- (2) **第45回監事会** 5月17日 会場 いわき市役所財政部長室 内容 令和4年度決算審査

4 役員等に関する事項

- 評議員7名、理事9名、監事3名（令和6年3月31日現在）
- 就任** 3月27日 理事 安藤 靖雄（福島県生活環境部環境回復推進監兼生活環境部次長 環境保全担当）
- 辞任** 3月31日 評議員 千葉伸一郎（いわき市観光文化スポーツ部長）
評議員 松島 良一（いわき市教育委員会教育部長）
理事長 藤城 良教（いわき市副市長）
監事 横張 貴士（いわき市財政部長）

IV 職員に関する事項

令和6年3月31日現在

1 事務局

括弧内数字：兼務職員数 単位：名

区分	事務局長 同相当職	次長 同相当職	係長 同相当職	主任職	係員	嘱託職員	補助職員	計
事務局	1	1	—	—	—	—	—	2
企画管理係	—	1	1	1	—	—	1	4
調査係	—	—	2	3	2	4	21	32
計	1	2	3	4	2	4	22	38

2 施設

区分	館長 所長	次長 同相当職	係長 同相当職	主任職	係員	嘱託職員	補助職員	計
文学館	1	1	1	2	—	—	4	9
伝承郷	1	—	1	2	—	—	2	6
勿来関 文学歴史館	1	—	—	1	—	1	2	5
アンモナイト センター	1	—	—	1	—	1	3	6
考古資料館	(1)	—	(3)	(3)	(2)	—	2	2 (9)
いわき海浜 自然の家	1	2	2	1	1	3	9	19
生涯学習 プラザ	1	1	1	2	—	—	6	11
計	6 (1)	4	5 (3)	9 (3)	1 (2)	5	28	58 (9)

合計	7 (1)	6	8 (3)	13 (3)	3 (2)	9	50	96 (9)
----	----------	---	----------	-----------	----------	---	----	-----------

前年度 合計	7 (1)	5	7 (3)	11 (2)	7 (3)	8	43	88 (9)
-----------	----------	---	----------	-----------	----------	---	----	-----------

決 算 報 告 書

目 次

	ページ
1 貸借対照表	55
2 正味財産増減計算書	56
3 財務諸表に対する注記	59
4 財産目録	61

貸借対照表

令和6年3月31日現在

(単位円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	374,040,294	248,232,190	125,808,104
未収金	25,091,626	16,400,121	8,691,505
前払金	0	0	0
立替金	68,146	0	68,146
仮払金	0	14,880	△14,880
未経過通信運搬費	42,758	54,046	△11,288
未経過租税公課	3,400	5,400	△2,000
流動資産合計	399,246,224	264,706,637	134,539,587
2 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	10,000,000	10,000,000	0
基本財産合計	10,000,000	10,000,000	0
(2) その他固定資産			
器具・備品	13	13	0
リース資産	14,230,718	22,374,000	△8,143,282
電話加入権	9,000	9,000	0
投資有価証券	10,070,000	0	10,070,000
その他固定資産合計	24,309,731	22,383,013	1,926,718
固定資産合計	34,309,731	32,383,013	1,926,718
資産合計	433,555,955	297,089,650	136,466,305
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	177,949,631	68,476,781	109,472,850
未払消費税	12,377,800	11,179,200	1,198,600
前受金	0	0	0
預り金	4,168,488	2,805,963	1,362,525
仮受金	0	0	0
賞与引当金	13,532,577	13,073,441	459,136
短期リース債務	12,304,154	11,475,715	828,439
流動負債合計	220,332,650	107,011,100	113,321,550
2 固定負債			
長期リース債務	2,549,866	11,779,905	△9,230,039
固定負債合計	2,549,866	11,779,905	△9,230,039
負債合計	222,882,516	118,791,005	104,091,511
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
受取出捐金	10,000,000	10,000,000	0
指定正味財産合計	10,000,000	10,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(10,000,000)	(10,000,000)	0
2 一般正味財産			
一般正味財産合計	200,673,439	168,298,645	32,374,794
正味財産合計	210,673,439	178,298,645	32,374,794
負債及び正味財産合計	433,555,955	297,089,650	136,466,305

正味財産増減計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益 (A)	200	200	0
基本財産受取利息	200	200	0
② 事業収益 (B)	806,169,985	707,902,861	98,267,124
文化財調査受託料	320,111,000	226,794,700	93,316,300
施設指定管理料	473,754,987	471,314,186	2,440,801
1 市立草野心平記念文学館	76,619,000	78,148,720	△1,529,720
2 市草野心平生家	3,254,000	3,254,000	0
3 市暮らしの伝承郷	51,570,000	52,109,662	△539,662
4 市勿来関文学歴史館	38,183,538	36,239,112	1,944,426
5 市アンモナイトセンター	26,821,449	26,950,169	△128,720
6 市考古資料館	17,676,000	18,076,523	△400,523
7 県いわき海浜自然の家(県)	160,912,000	158,571,000	2,341,000
8 市生涯学習プラザ	98,719,000	97,965,000	754,000
施設事業受託料	9,821,518	8,210,175	1,611,343
1 いわきヒューマンカレッジ	3,894,000	3,894,000	0
2 未来キッズ生き生き事業	3,647,906	3,559,970	87,936
3 勿来関公園体験学習施設管理事業	432,643	428,405	4,238
4 心のケアが必要な子ども対象事業	338,800	327,800	11,000
5 勿文歴収集資料調査検証業務	1,508,169	0	1,508,169
施設利用料	2,478,180	1,574,900	903,280
出版物頒布料	4,300	8,900	△4,600
③ 受取負担金 (C)	0	0	0
講師派遣料	0	0	0
④ 受取寄附金 (D)	0	0	0
寄附金	0	0	0
⑤ 雑収益 (E)	846,237	655,903	190,334
受取利息	1,103	1,099	4
雑収益	845,134	654,804	190,330
経常収益計 (A~E)=(F)	807,016,422	708,558,964	98,457,458
(2) 経常費用			
① 事業費 (G)	737,881,888	664,927,890	72,953,998
給料手当	117,509,476	125,506,422	△7,996,946

(単位円)

科 目	当年度	前年度	増減
賃金	171,366,850	162,193,570	9,173,280
賞与引当金繰入額	11,558,284	11,237,537	320,747
共済費	48,287,384	46,629,185	1,658,199
報償費	5,899,787	5,737,071	162,716
旅費	2,556,209	2,405,174	151,035
消耗品費	15,230,085	13,479,049	1,751,036
被服費	1,059,705	472,183	587,522
燃料費	7,176,913	6,603,755	573,158
食糧費	428,712	331,107	97,605
印刷製本費	26,285,185	12,058,771	14,226,414
光熱水費	29,858,301	36,300,881	△6,442,580
修繕費	12,798,335	11,592,931	1,205,404
医薬材料費	0	0	0
通信運搬費	5,085,837	5,962,367	△876,530
広告料	595,959	609,709	△13,750
手数料	942,374	966,277	△23,903
保険料	1,236,818	1,268,171	△31,353
委託料	184,775,864	137,703,141	47,072,723
使用料及び賃借料	40,598,088	35,156,004	5,442,084
工事請負費	3,402,996	176,000	3,226,996
原材料費	157,482	209,780	△52,298
負担金	268,950	296,523	△27,573
公租公課	38,096,111	34,796,733	3,299,378
消耗什器備品費	652,575	1,280,180	△627,605
減価償却費	11,514,782	11,187,000	327,782
支払利息	538,826	768,369	△229,543
② 管理費	36,829,740	36,681,089	148,651
報酬	249,000	249,000	0
給料手当	15,944,601	14,876,043	1,068,558
賃金	4,298,861	4,143,142	155,719
賞与引当金繰入額	1,974,293	1,835,904	138,389
共済費	4,757,380	4,576,475	180,905
報償費	147,000	190,800	△43,800
旅費	81,444	125,513	△44,069
交際費	0	15,000	△15,000
消耗品費	181,689	502,845	△321,156
被服費	17,500	15,400	2,100
燃料費	54,999	40,051	14,948

(単位円)

科 目	当年度	前年度	増減
食糧費	12,665	43,089	△30,424
印刷製本費	2,301,200	2,864,180	△562,980
光熱水費	154,390	94,746	59,644
修繕費	22,000	0	22,000
通信運搬費	282,644	292,371	△9,727
広告料	0	0	0
手数料	409,640	424,435	△14,795
保険料	181,120	196,370	△15,250
委託料	461,176	418,098	43,078
使用料及び賃借料	1,112,631	1,267,834	△155,203
原材料費	0	0	0
負担金	684,968	602,283	82,685
補償費	0	6,153	△6,153
公租公課	3,500,539	3,901,357	△400,818
消耗什器備品費	0	0	0
経常費用計 (G+H) = (I)	774,711,628	701,608,979	73,102,649
評価損益等調整前当期経常増減額 (F-I) = (J)	32,304,794	6,949,985	25,354,809
投資有価証券評価損益等	70,000	0	70,000
評価損益等計 (K)	70,000	0	70,000
当期経常増減額 (J+K) = (L)	32,374,794	6,949,985	25,424,809
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計 (M)	0	0	0
(2) 経常外費用			
① 過年度損益修正損			
リース料修正損	0	0	0
電話加入権減損損失	0	0	0
経常外費用計 (N)	0	0	0
当期経常外増減額 (M-N) = (O)	0	0	0
当期一般正味財産増減額 (L+O) = (P)	32,374,794	6,949,985	25,424,809
一般正味財産期首残高 (Q)	168,298,645	161,348,660	6,949,985
一般正味財産期末残高 (P+Q) = (R)	200,673,439	168,298,645	32,374,794
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	200	200	0
一般正味財産への振替額	△200	△200	0
当期指定正味財産増減額 (S)	0	0	0
指定正味財産期首残高 (T)	10,000,000	10,000,000	0
指定正味財産期末残高 (S+T) = (U)	10,000,000	10,000,000	0
III 正味財産期末残高 (R+U)	210,673,439	178,298,645	32,374,794

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

平成26年度より公益法人会計基準（平成20年4月11日内閣府公益認定等委員会）を採用している。

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券 償却原価法（定額法）

その他有価証券（時価のあるもの） 時価法

(2) 固定資産の減価償却方法

器具・備品 定率法

リース資産 リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとする定額法

(3) 引当金の計上基準

・退職給付引当金

期末在職者の退職金支給に備えるため、中小企業退職共済制度に加入しており、同制度による給付額と退職金要支給額が同額であるため、退職給付引当金は計上していない。

・賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるため、当期に帰属する期間の支給見込み額を計上している。

(4) リース取引の処理方法

ファイナンス・リース取引（所有権移転外ファイナンスリース）

通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

なお、重要性の乏しいリース取引については、引き続き通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理による。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2 基本財産の増減額及びその残高

基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	10,000,000円	0円	0円	10,000,000円
合 計	10,000,000円	0円	0円	10,000,000円

3 基本財産の財源等の内訳

基本財産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	10,000,000円	(10,000,000円)	(0円)	—
合 計	10,000,000円	(10,000,000円)	(0円)	—

4 固定資産の取得価額、減価償却及び償却額累計額及び当期末残高及び減損損失

固定資産の取得価額、減価償却及び減損損失累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却及び 減損損失累計額	減価償却	当期末残高
器具・備品	7,541,762円	7,541,749円	0円	13円
リース資産	59,306,500円	33,561,000円	11,514,782円	14,230,718円
電話加入権	449,904円	440,904円	0円	9,000円
合 計	67,298,166円	41,543,653円	11,514,782円	14,239,731円

5 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。

科 目	債権金額	貸倒引当金の 当期末残高	債権の当期末残高
未収金	25,091,626円	0円	25,091,626円
合 計	25,091,626円	0円	25,091,626円

6 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産運用益 基本財産受取利息	200円
合 計	200円

財 産 目 録

令和6年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)			
現金	事務局、施設7か所	手許保管	305,846
郵便振替	ゆうちょ銀行	運転資金	177,686
預金	普通預金		
	東邦銀行湯本支店	運転資金	320,679,197
	東邦銀行湯本支店	運転資金	0
	東邦銀行湯本支店	運転資金	0
	いわき信用組合湯本支店	運転資金	9,427,877
	いわき信用組合湯本支店	運転資金	3,264,252
	大東銀行湯本支店	運転資金	87,415
	福島銀行湯本支店	運転資金	98,021
	大和初社銀行おイ支店	運転資金	0
	定期預金		
	いわき信用組合湯本支店	運転準備資金	10,000,000
	大東銀行湯本支店	運転準備資金	10,000,000
	福島銀行湯本支店	運転準備資金	10,000,000
	大和初社銀行おイ支店	運転準備資金	10,000,000
未収金	いわき市、福島県等	文化財調査受託料未収等	25,091,626
立替金	いわき市、年金事務所等	藤原収蔵庫電気料、社会保険料	68,146
未経過通信運搬費	切手	在庫	42,758
未経過租税公課	印紙	在庫	3,400
流動資産合計			399,246,224
(固定資産)			
基本財産			
定期預金	東邦銀行湯本支店	市出捐金	10,000,000
その他固定資産			
器具・備品	カメラ等	公1事業目的保有財産	13
リース資産	パソコンインフォメーション機器	公2事業目的保有財産	14,230,718
電話加入権		公1・法人会計事業目的保有財産	9,000
投資有価証券	第1回グリーン共同市場公募地方債	法人運営の運用資産	10,070,000
固定資産合計			34,309,731
資産合計			433,555,955
(流動負債)			
未払金	人件費	補助職員3月分賃金等	14,004,453
	物件費	業者に対する未払額	163,945,178
未払消費税	いわき税務署	5年度消費税	12,377,800
前受金			0
預り金	所得税、市県民税、社会保険料等		4,168,488
賞与引当金	職員		13,532,577
短期リース債務			12,304,154
流動負債合計			220,332,650
(固定負債)			
長期リース債務			2,549,866
固定負債合計			2,549,866
負債合計			222,882,516
正味財産			210,673,439